８．現状変更等の内容及び実施の方法

史跡の散策環境改善ならびに回遊性向上を図るため、令和 6 年度に実施した確認調査箇所 10 箇所の内、山頂地区ならびに遊歩道 1 地区について、遊歩道施設整備ならびに誘導サイン、解説サインの設置、散策者の休憩施設としてのベンチ設置などを行う。

(1)山頂地区

山頂地区については、史跡散策者ののぼりおりによって形成された経年崩壊箇所４箇所について盛土保護を行い、史跡散策者の利便性向上のため内 2 箇所について木製の階段を設置する。併せて、夏季における雑草によって遊歩道が見失われる事態となる遊歩道について不陸整成を行いつつ自然色舗装を行い、雑草繁茂を抑え遊歩道環境を整える。

また、史跡散策者の便益に資するための誘導サイン・解説サイン・置き型ベンチを設置するとともに、危険箇所については史跡景観に配慮した意匠でロープ柵を設置し注意喚起サインを設置する。加えて、大正 13 年(1924)に設置された史跡石柱が折れた状態であることから、近代の文化遺産として復旧するための石柱復元を行う。

なお、資材等搬入・搬出については、史跡地外（史跡地西側）に運搬用モノレールを設置し、史跡地内（土塁上部）まで搬入し、施工箇所までの史跡地内においては人肩運搬にて搬送することとしている。なお、運搬用モノレールの仮設工については、確認調査によって明らかとなった表層土内でレール主支柱を留める施工とし、遺構に影響のない範囲で設置することとしている。

山頂地区整備工事一覧

工種	内容		数量	備考
土工		盛土による保護	46.7 ㎥	人力及び小型重機による整形
施設整備工	板柵土留め A	H800 プラ擬木	1 箇所	
	板柵土留め B	H1000 プラ擬木	1 箇所	
	野芝付ジオテキスタイル	1050×3000	127 ㎡	
	自然色舗装	t40 W600～1200	715.8 ㎡	遊歩道部分：700 ㎡ 擬木階段 A：6.6 ㎡ 擬木階段 B：9.2 ㎡
	プラ擬木階段 A	W750 二本組木	23 段	
	プラ擬木階段 B	W1200 二本組木	23 段	
	誘導サイン	H1200 打込み杭式	5 基	A タイプ(2 基)、B タイプ(1 基)、C タイプ(2 基)

工種	内容		数量	備考
	案内サイン	W1720×H1800 基礎工 GL-750	1 基	R6 確認調査を実施し、遺構が確認できなかった箇所への設置
	注意喚起サイン	W306×H880 打込み杭式	5 基	
	置き型ベンチ	W1800	5 基	
	石柱復元	270×270 H1500	1 基	大正 13 年設置の石柱
	ロープ柵	H900 @1500 プラ擬木	74.5m	2 箇所(36.0m、38.5m)

（2）遊歩道１地区

令和５年度の豪雨災害によって遊歩道が崩壊し、加えて倒木などで通行できない状況にあることから、中ノ尾礎石群と坊住北礎石群の回遊性が阻害されている。この状態を改善するために、遊歩道１の整備を行う。

資材搬入・搬出については、管理用道路まではトラックなどで行い、史跡地遊歩道内は人肩運搬によって搬送を行うこととしている。

遊歩道１地区整備工事一覧

工種	内容		数量	備考
伐採工	樹木伐採	倒木１本 スギ２本	3 本	倒木(樹高 10.0m、幹周 0.85m) スギ(樹高 17.0m、幹周 1.19m・1.22m)
土工	盛土	盛土による保護	20.83 ㎥	
	切土	掘削	0.04 ㎥	最上段の既存階段とのすり付け箇所
施設整備工	水路用マット	W1000×L2000	16.3 ㎡	設置階段の洗掘防止のために雨水排水用として設置 史跡景観に配慮し、ブラウン色を採用
	プラ擬木階段	W1000	24 段	
	自然色舗装	t40	8.7 ㎡	プラ擬木階段踏み面

これら諸作業を行うにあたって、基肄城跡保存整備委員会ならびに関係機関(佐賀県、福岡県、九州歴史資料館など）の指導を仰ぎ進めることとしている。

９．現状変更等により生ずべき史跡への影響に関する事項

特別史跡基肄城跡の遺構ならびに史跡景観に影響を及ぼさない施工法ならびに意匠を選択し実施する。

また併せて整備工事時については史跡散策者の安全に十分留意し実施する。

10．現状変更の着手及び終了の予定時期

着　手　　許　可　日

完　了　　令和８年３月３１日

11．現状変更等に係る地域の地番

佐賀県三養基郡基山町大字小倉 2553-1 の一部（面積 21,868 ㎡）

12．現状変更等に係る工事その他の行為の施工者氏名及び住所

氏　名　　未定

住　所　　未定

13．添付書類

（１）特別史跡基肄（椽）城跡　位置図

（２）特別史跡基肄（椽）城跡　平面図

（３）現状変更対象地字図

（４）現状変更対象地位置図

（５）保存整備工事実施設計図面

（６）保存整備工事箇所現況写真

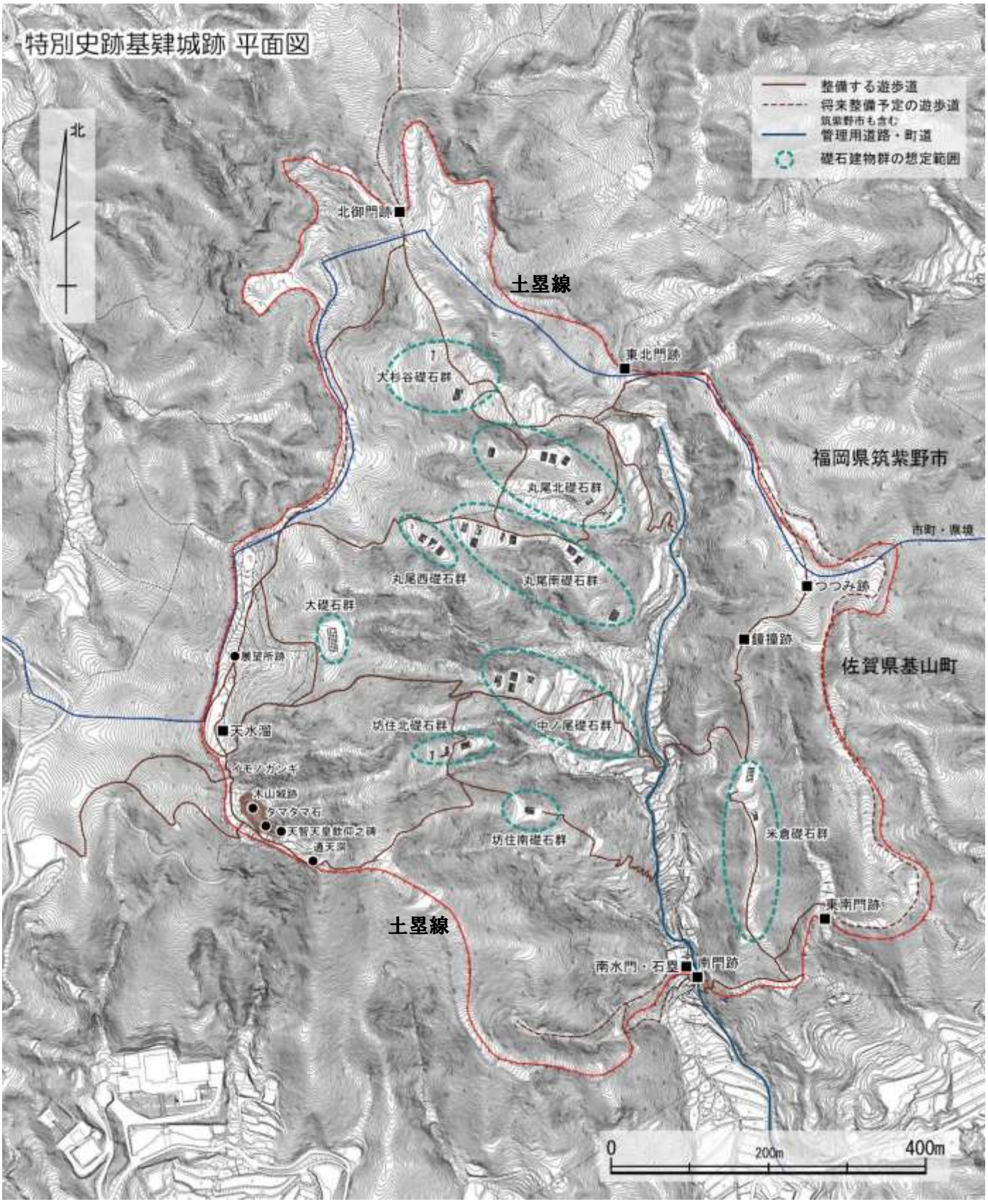
（７）交付決定通知書

14.その他参考となるべき事項

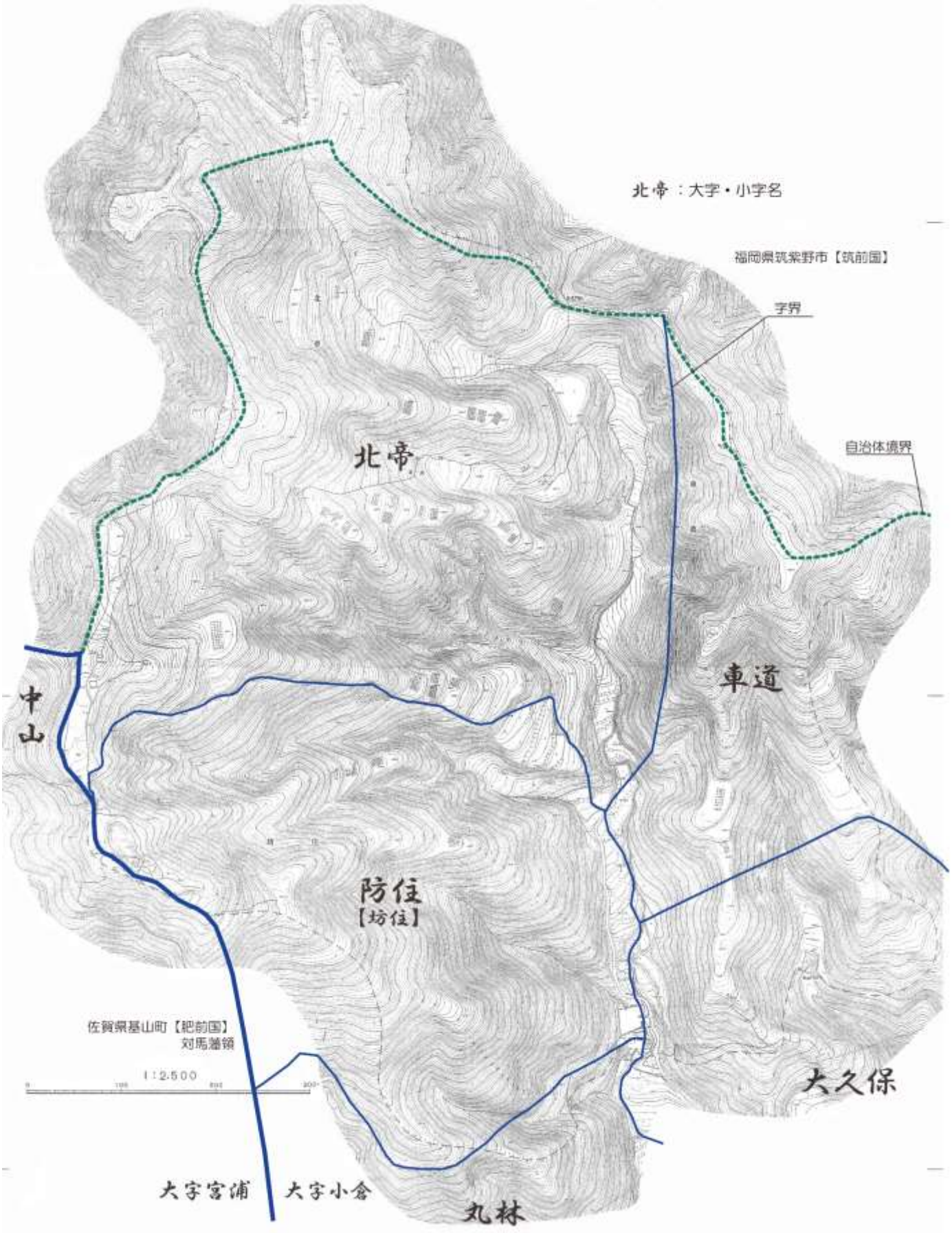
（１）国庫補助事業（歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業）に基づく整備工事規模

（２）交付決定の状況　令和７年４月１日交付決定済み

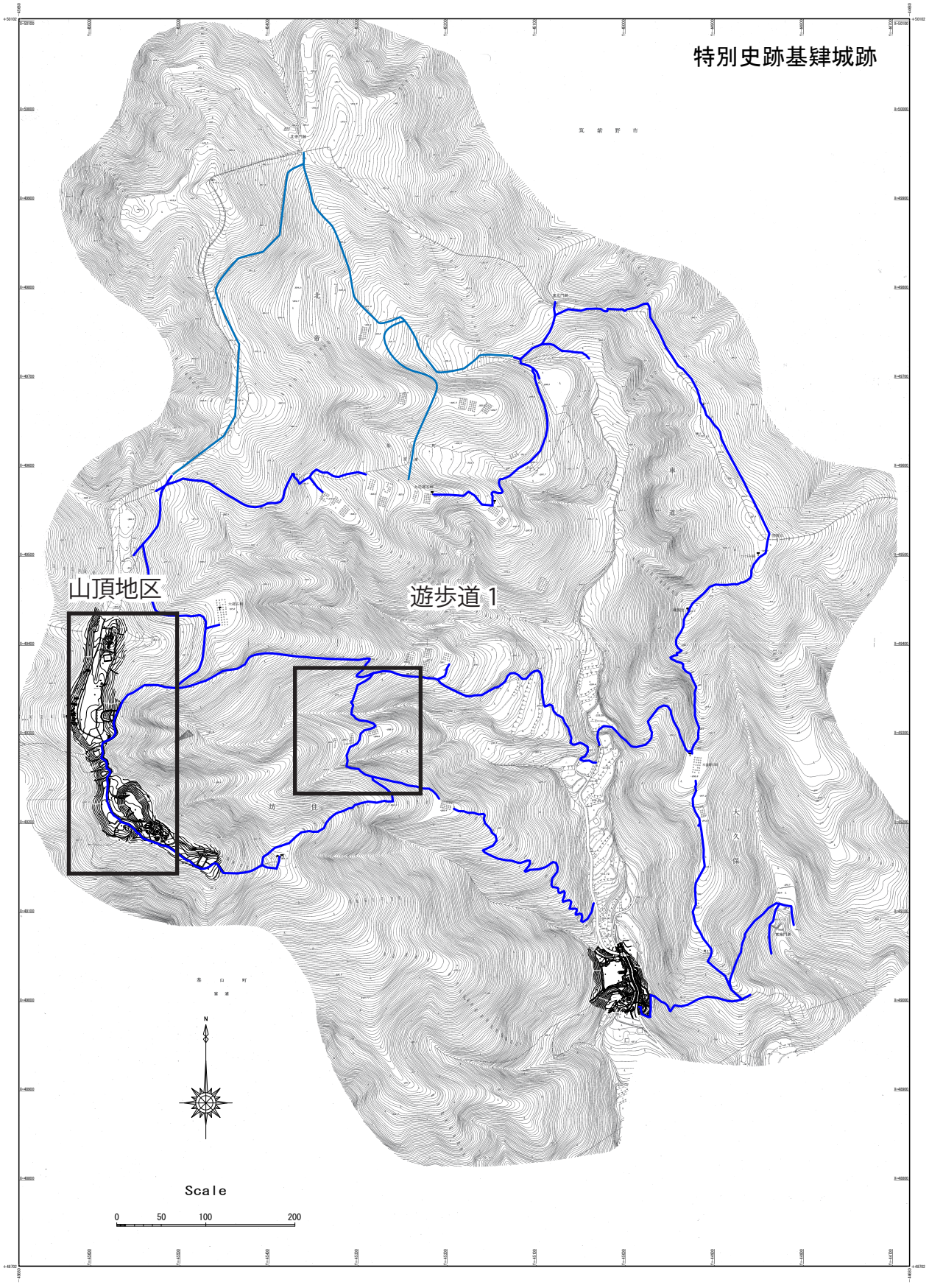
（2）特別史跡基肄（椽）城跡 平面図



(3) 現状変更対象地 字図


北帝 ：大字・小字名
福岡県筑紫野市【筑前国】
字界
自治体境界
北帝
中山
車道
防住
【坊住】
佐賀県基山町【肥前国】
対馬藩領
1:2,500
大久保
大字宮浦
大字小倉
丸林

(4) 現状変更対象地位置図



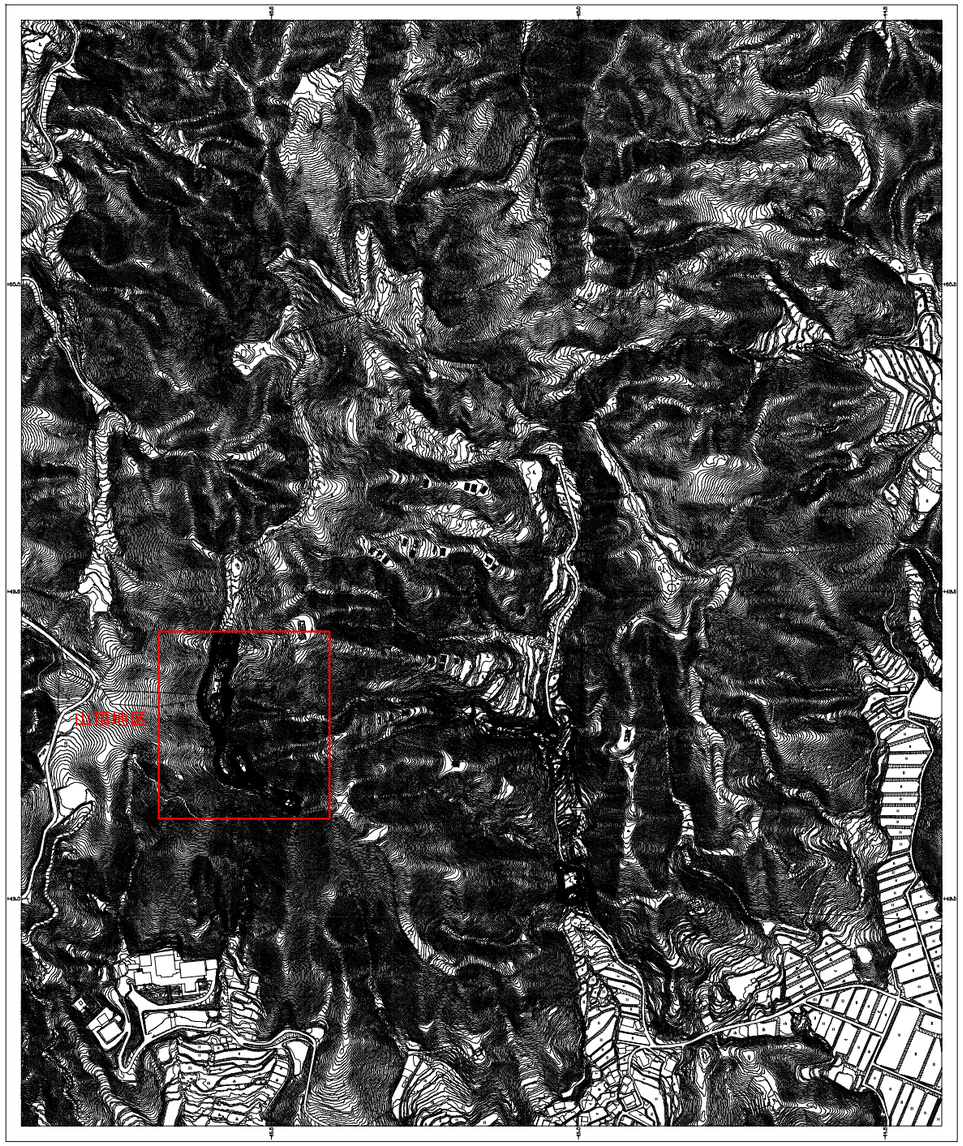
(5)保存整備工事実施設計図面

目次・位置図（山頂地区）

目　次

図面番号	図　面　名　称	縮　尺	備　考
１	目次・位置図	1/10000	
２	現況・撤去平面図	1/1000	
３	造成平面図	1/1000	
４	Ａ部　縦断図・横断図	1/150	
５	Ｂ部　縦断図・横断図	1/150	
６	Ｃ部　縦断図・横断図	1/150	
７	Ｄ部　縦断図・横断図	1/150	
８	Ｅ部　縦断図・横断図	1/150	
９	Ｆ部　縦断図・横断図	1/150	
１０	Ｇ部　縦断図・横断図	1/150	
１１	施設平面図	1/1000	
１２	詳細図－１	図示	撤去、自然色舗装、石柱復元
１３	詳細図－２	図示	板柵土留、置き型ベンチ
１４	詳細図－３	図示	擬木階段Ａ
１５	詳細図－４	図示	擬木階段Ｂ
１６	詳細図－５	図示	誘導サイン、案内サイン
１７	詳細図－６	図示	注意喚起サイン、野芝ジオ、ロープ柵

位置図



S=1/10000

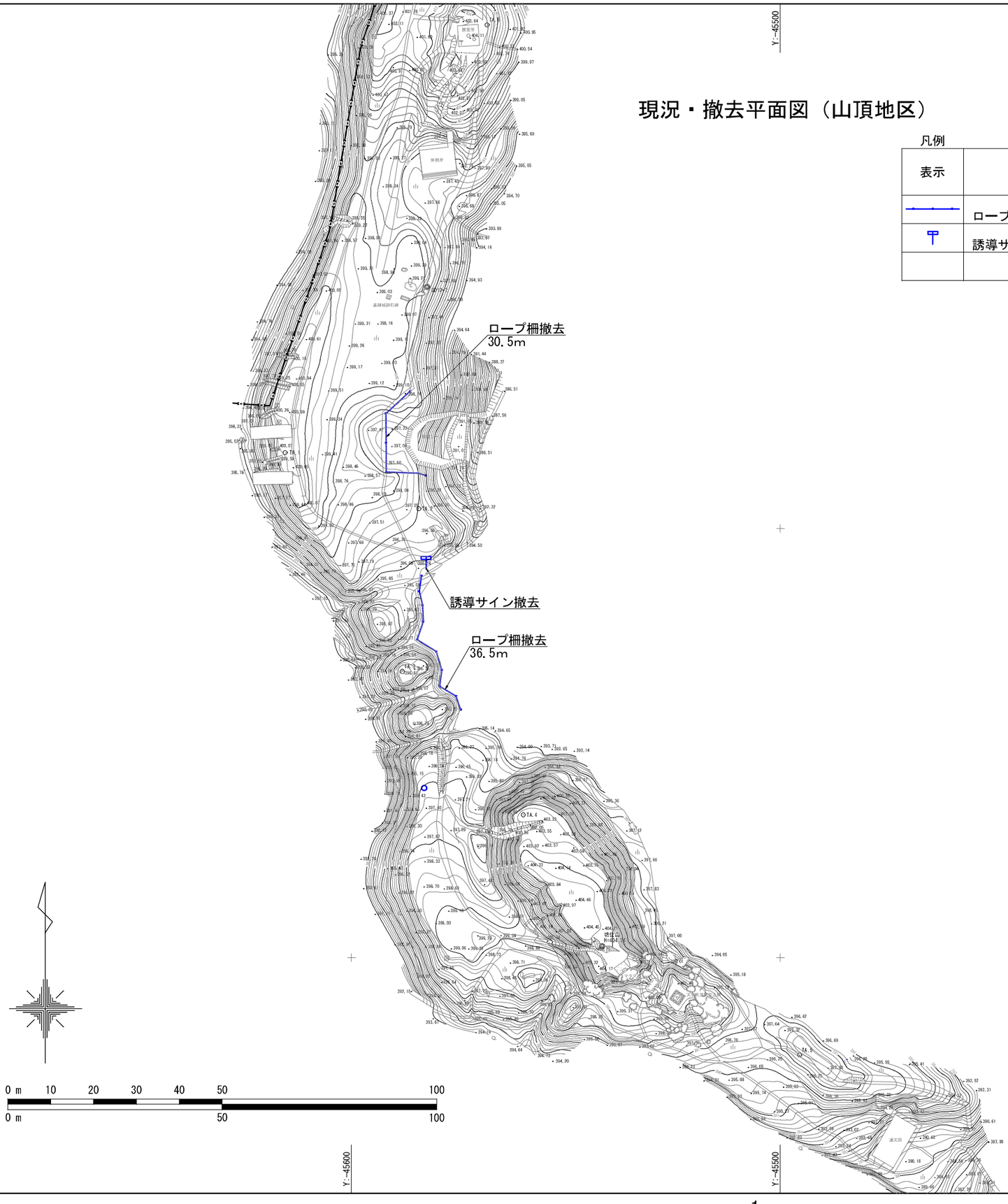
0　100　200　300　400　500m

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	目次・位置図 （山頂地区）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=1/10000（A3）	図面番号	1/18
佐　賀　県　基　山　町			

現況・撤去平面図（山頂地区）

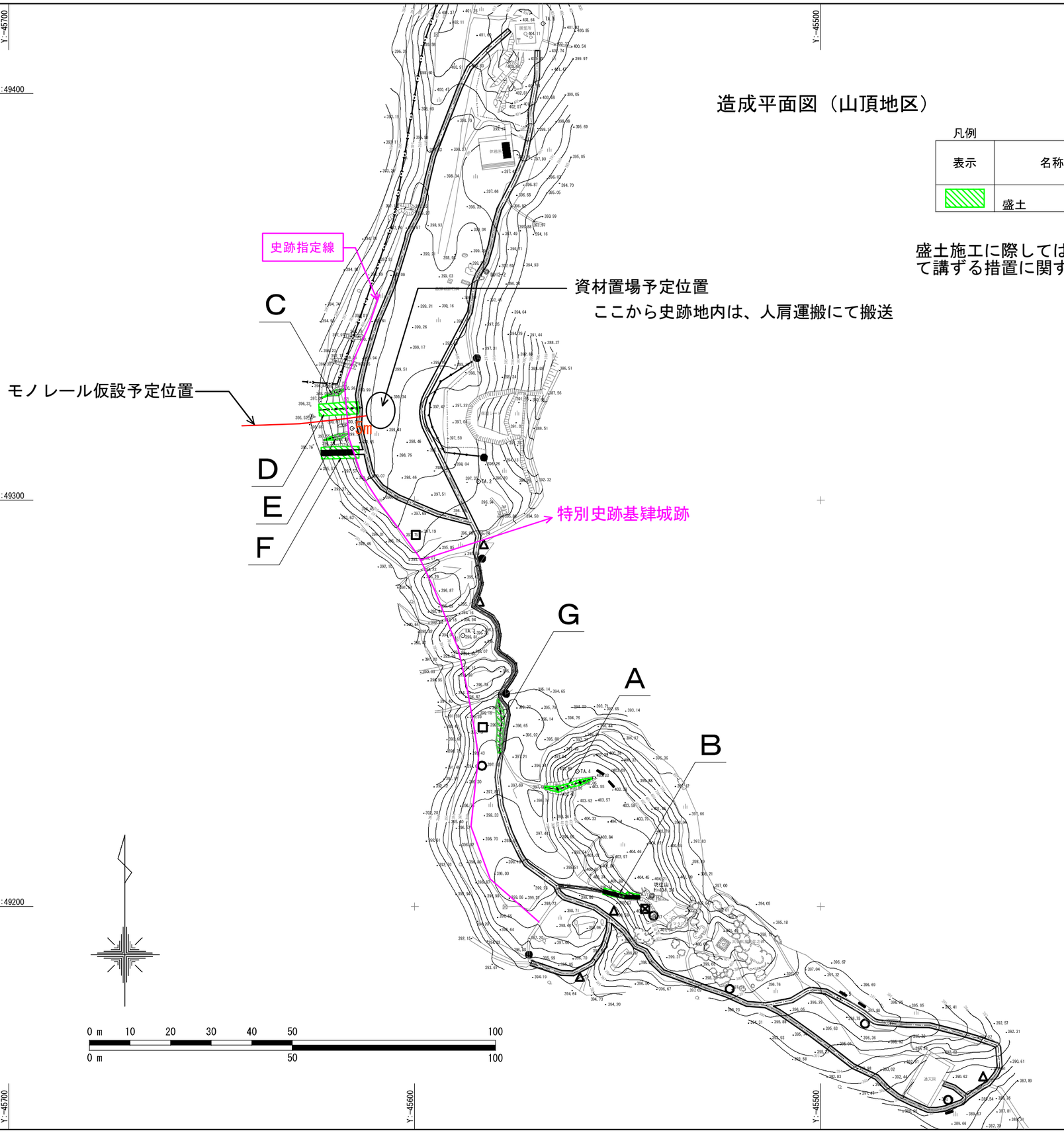
凡例

表示	名称	規格・寸法	数量	単位	備考
	ロープ柵撤去		67.0	m	
〒	誘導サイン撤去		1	基	取外し済



業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	現況・撤去平面図 （山頂地区）		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮　尺	S=1/1000 (A3)	図面番号	2/18
佐　賀　県　基　山　町			

造成平面図（山頂地区）



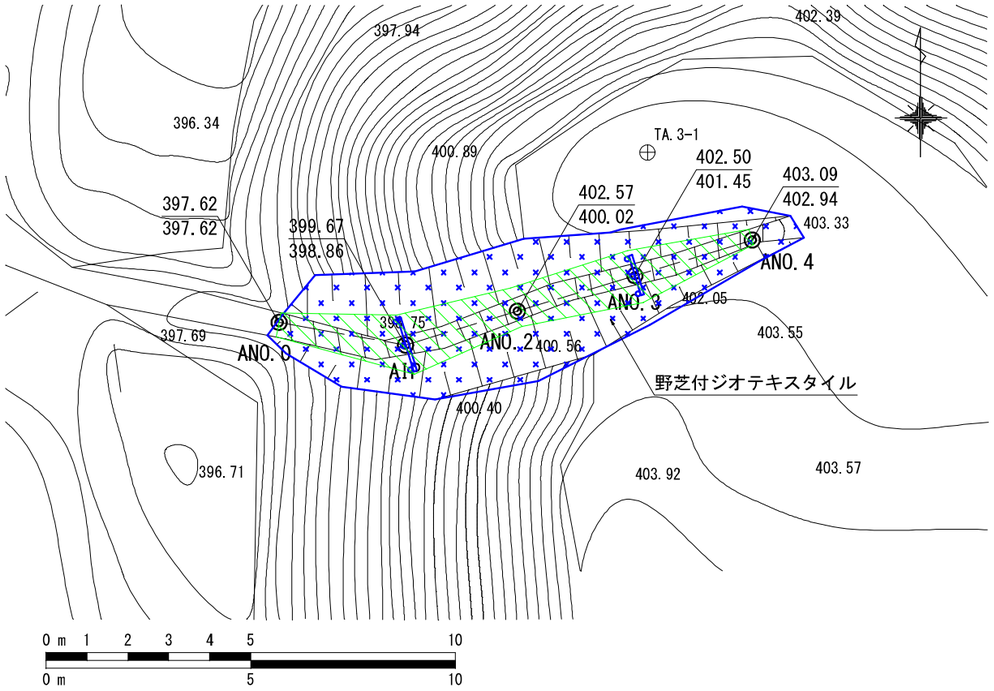
凡例

表示	名称	規格・寸法	数量	単位	備考
	盛土		46.7	m3	

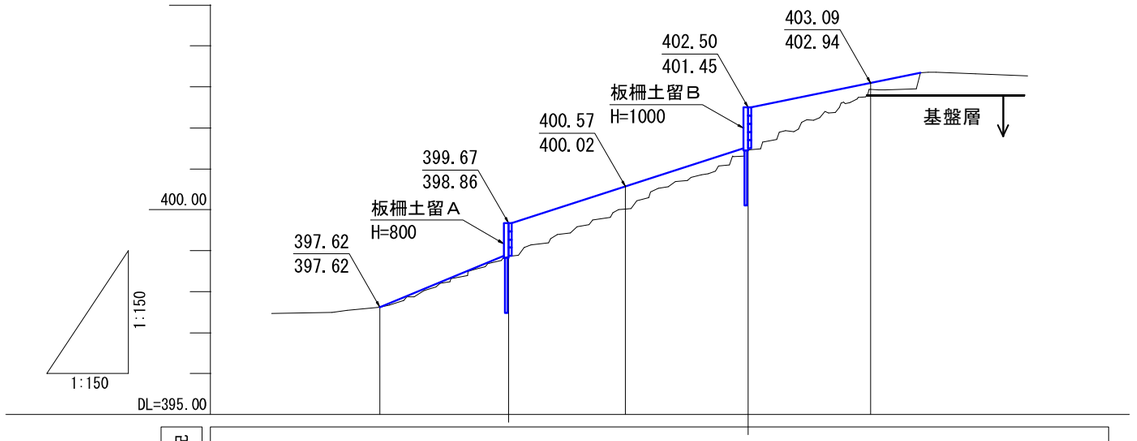
盛土施工に際しては、「宅地造成及び特定盛土等規制法施行令」第7条（地盤について講ずる措置に関する技術的基準」に基づき30cm転圧にて施工するものとする。

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	造成平面図 （山頂地区）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=1/1000（A3）	図面番号	3/18
佐　賀　県　基　山　町			

A部 平面図　S=1/150



A部 縦断図　S=1/150



勾配					
計画高	397.62	399.67	400.57	402.50	403.09
地盤高	397.62	398.86	400.02	401.45	402.94
追加距離	0.00	3.15	6.00	9.00	12.00
単距離	0.00	3.15	2.85	3.00	3.00
測点	ANO.0	AIP	ANO.2	ANO.3	ANO.4

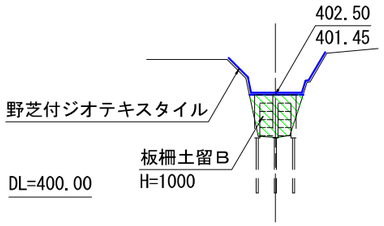
A部 横断図　S=1/150

凡例
- 現況
- 計画
- 切土
- 盛土
- 計画高 / 現況高

ANO.3

切土	-
盛土	1.06

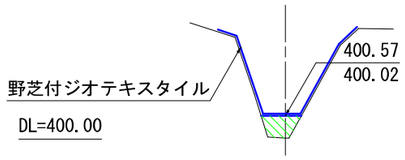
GH=401.45
FH=402.50



ANO.2

切土	-
盛土	0.41

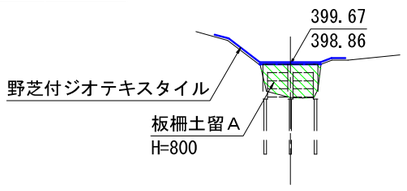
GH=400.02
FH=402.57



AIP

切土	-
盛土	1.05

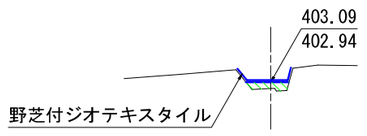
GH=398.86
FH=399.67



ANO.4

切土	-
盛土	0.17

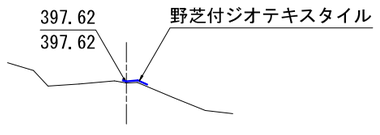
GH=402.94
FH=403.09



ANO.0

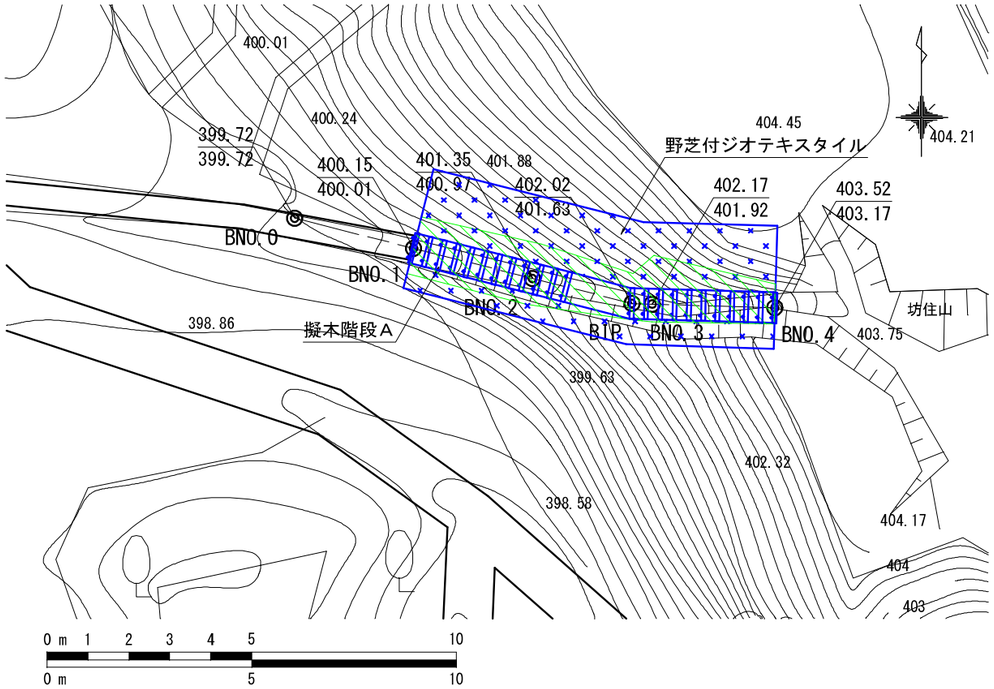
切土	-
盛土	-

GH=397.62
FH=397.62

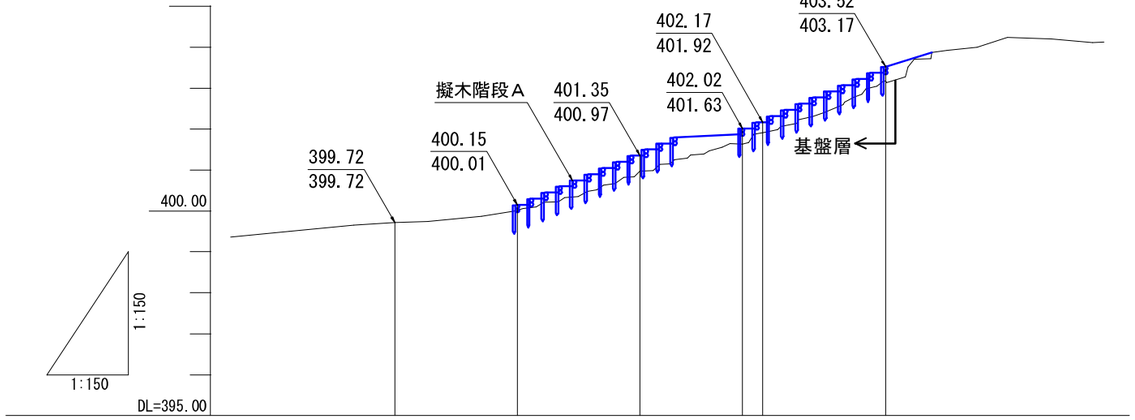


業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託
図面名	A部 縦断図・横断図 （山頂地区）
年月日	令和 7 年 3 月
縮　尺	S=1/150 (A3) ／ 図面番号 4/18
佐　賀　県　基　山　町	

B部 平面図　S=1/150



B部 縦断図　S=1/150



勾配						
計画高	399.72	400.15	401.35	402.02	402.17	403.45
地盤高	399.72	400.01	400.97	401.63	401.92	403.17
追加距離	0.00	3.00	6.00	8.50	9.00	12.00
単距離	0.00	3.00	3.00	2.50	0.50	3.00
測点	BNO.0	BNO.1	BNO.2	BIP	BNO.3	BNO.4

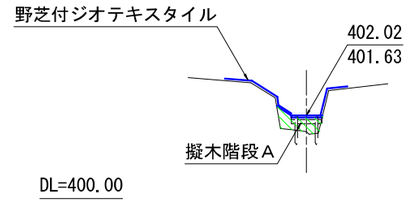
B部 横断図　S=1/150

凡例
- 現況
- 計画
- 切土
- 盛土
- 計画高 / 現況高

BIP

切土	-
盛土	0.39

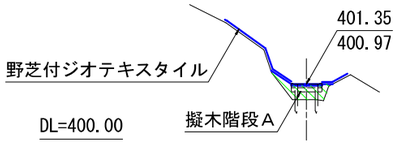
GH=401.63
FH=402.02



BNO.2

切土	-
盛土	0.40

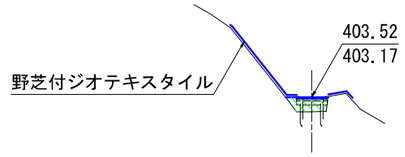
GH=400.97
FH=401.35



BNO.4

切土	-
盛土	0.29

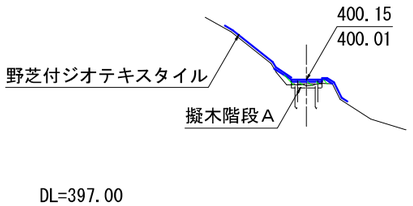
GH=403.17
FH=403.45



BNO.1

切土	-
盛土	0.12

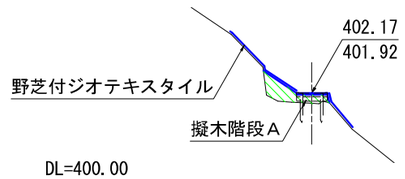
GH=400.01
FH=400.15



BNO.3

切土	-
盛土	0.48

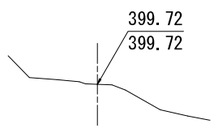
GH=401.92
FH=402.17



BNO.0

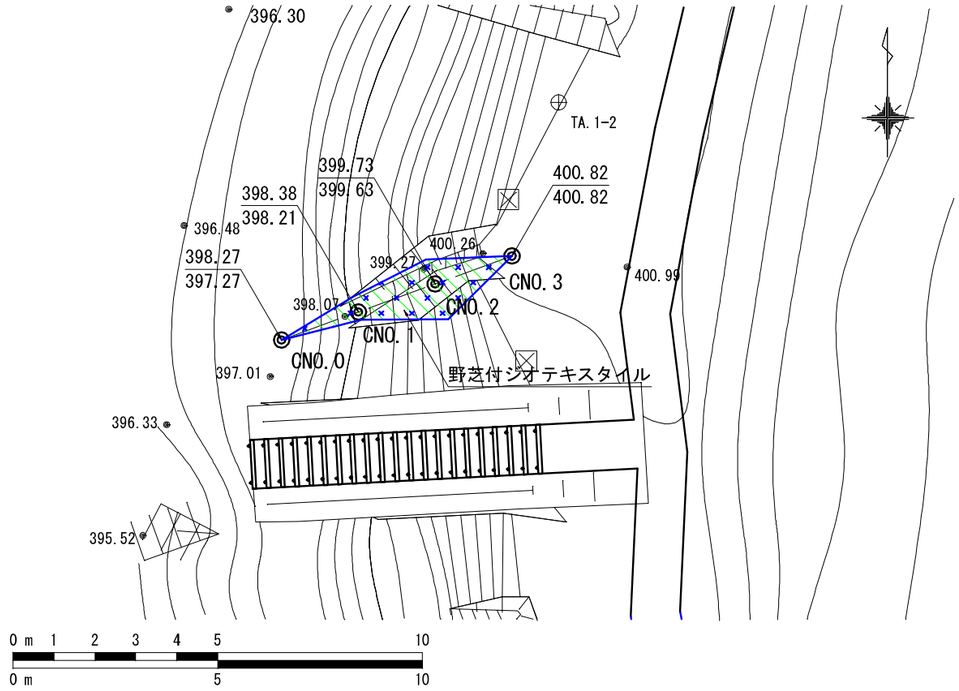
切土	-
盛土	-

GH=399.72
FH=399.72

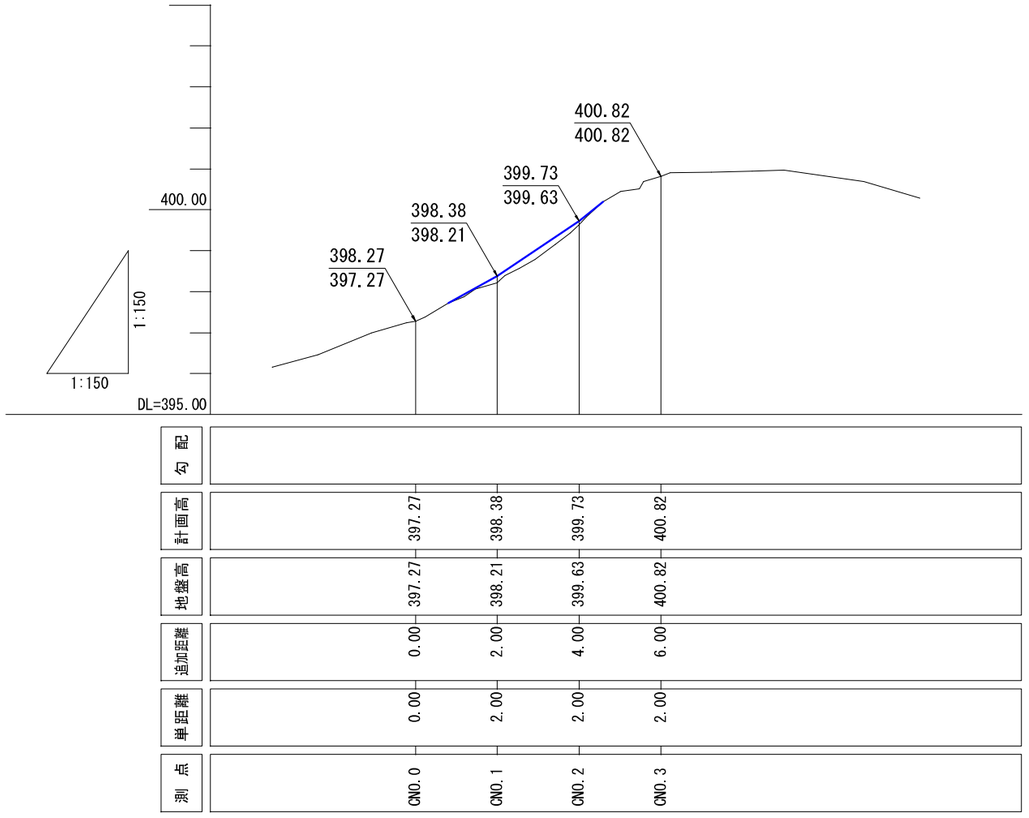


業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	B部 縦断図・横断図 （山頂地区）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=1/150 (A3)	図面番号	5/18
佐　賀　県　基　山　町			

C部 平面図　S=1/150

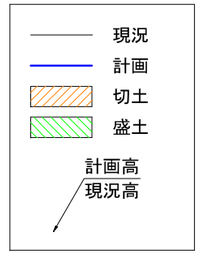


C部 縦断図　S=1/150



C部 横断図　S=1/150

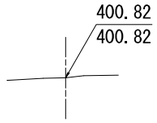
凡例



CNO.3

切土	-
盛土	-

GH=400.82
FH=400.82

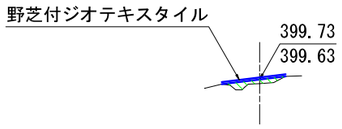


DL=397.00

CNO.2

切土	-
盛土	0.15

GH=399.63
FH=399.73

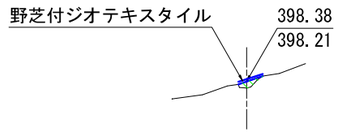


DL=397.00

CNO.1

切土	-
盛土	0.06

GH=398.21
FH=398.38

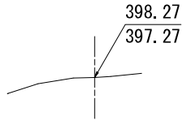


DL=395.00

CNO.0

切土	-
盛土	-

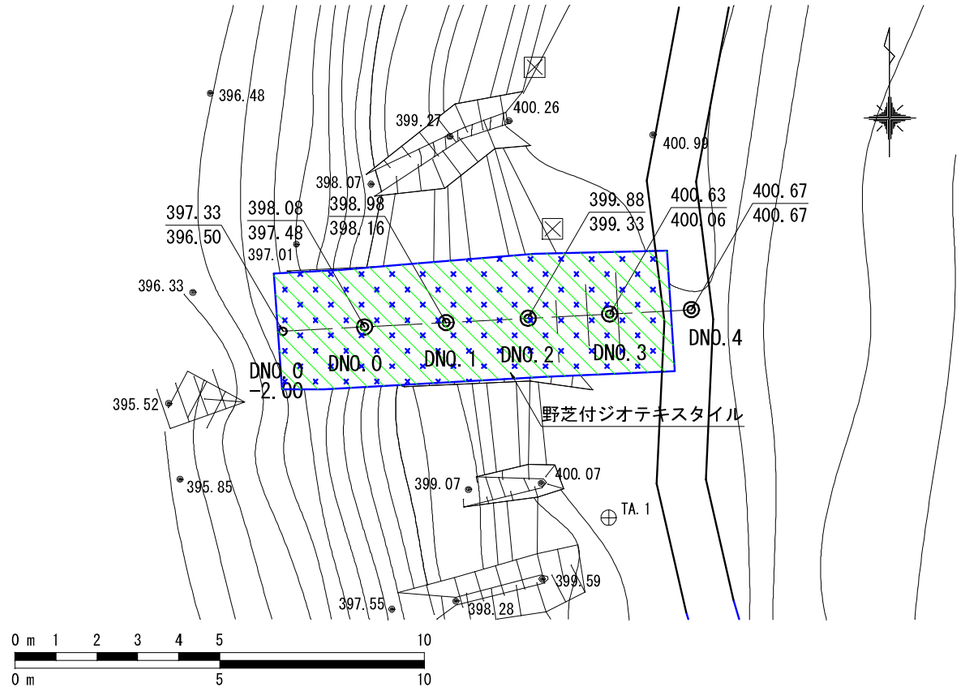
GH=397.27
FH=397.27



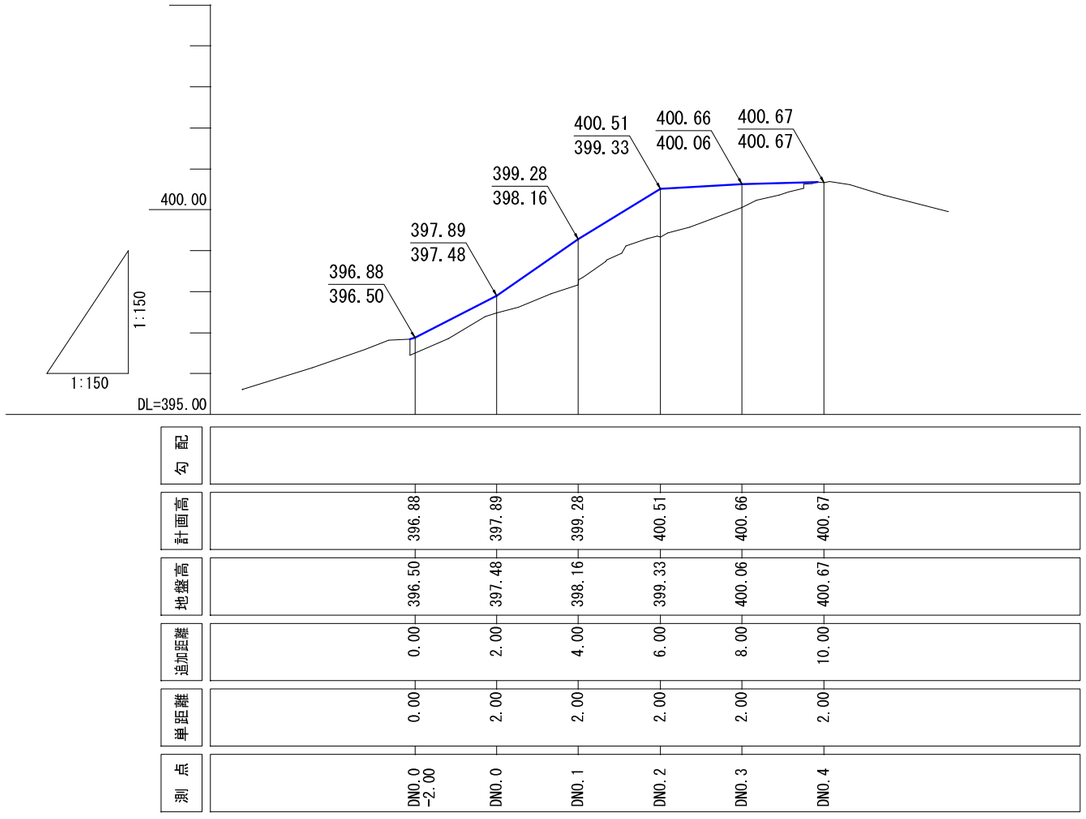
DL=395.00

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	C部 縦断図・横断図 （山頂地区）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=1/150 (A3)	図面番号	6/18
佐　賀　県　基　山　町			

D部 平面図　S=1/150



D部 縦断図　S=1/150

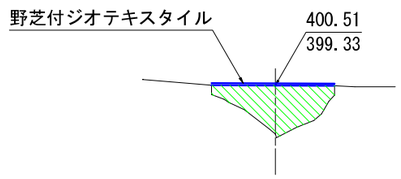


D部 横断図　S=1/150

凡例
- 現況
- 計画
- 切土
- 盛土
- 計画高 / 現況高

DNO.2
GH=399.33
FH=400.51

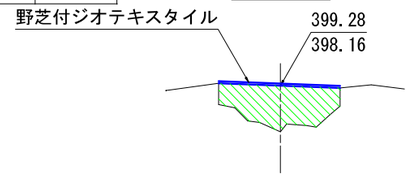
切土	-
盛土	2.28



DL=397.00

DNO.1
GH=398.16
FH=399.28

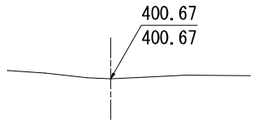
切土	-
盛土	2.48



DL=395.00

DNO.4
GH=400.67
FH=400.67

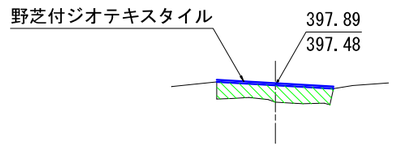
切土	-
盛土	-



DL=397.00

DNO.0
GH=397.48
FH=397.89

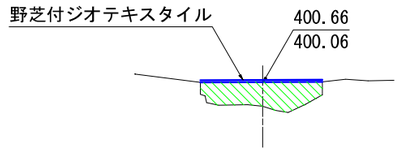
切土	-
盛土	1.09



DL=395.00

DNO.3
GH=400.06
FH=400.66

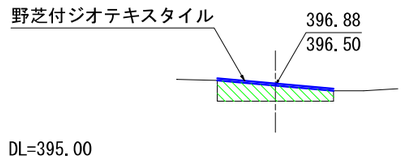
切土	-
盛土	1.71



DL=397.00

DNO.0-2.00
GH=396.50
FH=396.88

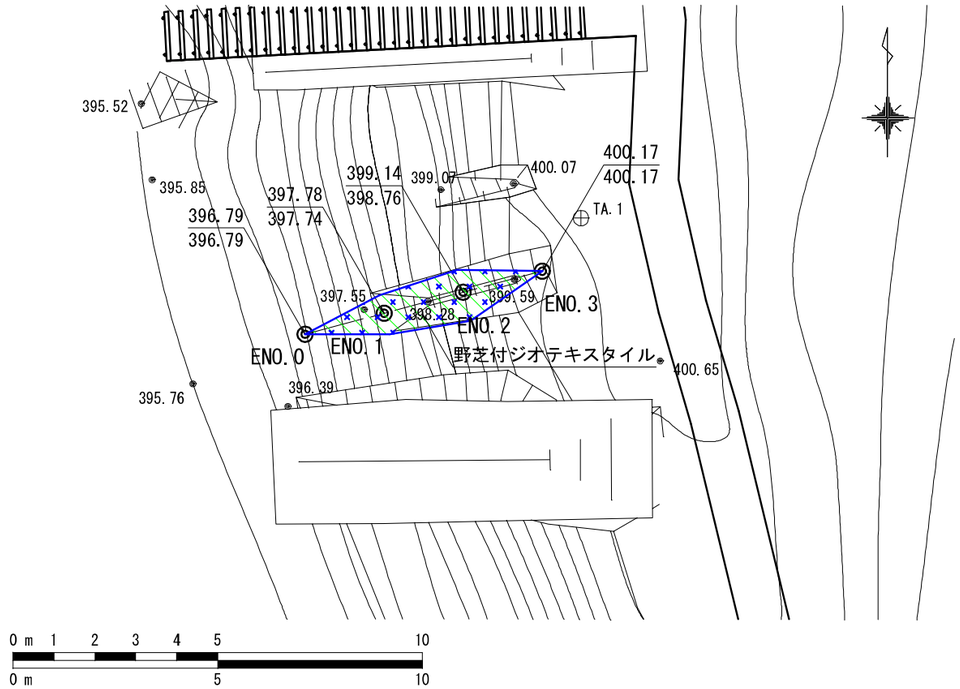
切土	-
盛土	1.08



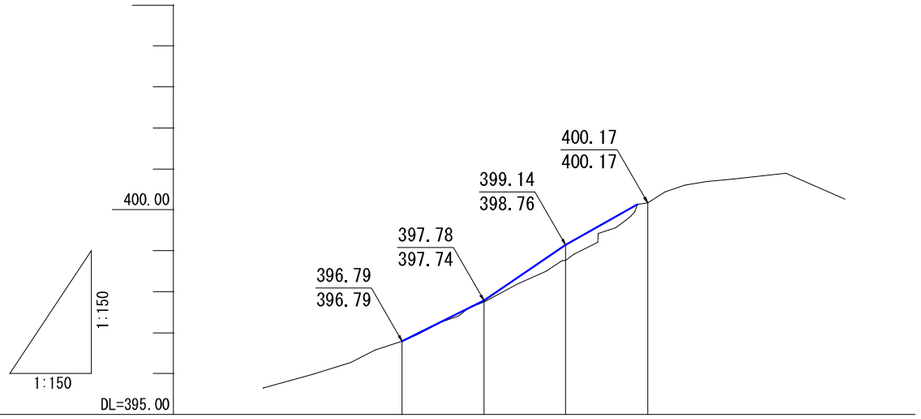
DL=395.00

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	D部 縦断図・横断図 （山頂地区）		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮　尺	S=1/150 (A3)	図面番号	7/18
佐　賀　県　基　山　町			

E部 平面図　S=1/150



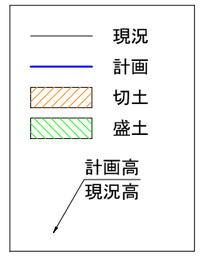
E部 縦断図　S=1/150



勾配					
計画高	396.79	397.79	399.14	400.17	
地盤高	396.79	397.74	398.76	400.17	
追加距離	0.00	2.00	4.00	6.00	
単距離	0.00	2.00	2.00	2.00	
測点	ENO.0	ENO.1	ENO.2	ENO.3	

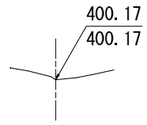
E部 横断図　S=1/150

凡例



ENO.3
GH=400.17
FH=400.17

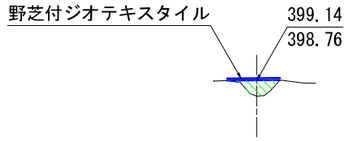
切土	-
盛土	-



DL=397.00

ENO.2
GH=398.76
FH=399.14

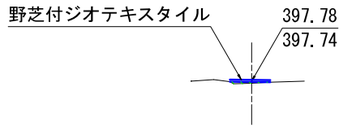
切土	-
盛土	0.26



DL=395.00

ENO.1
GH=397.74
FH=397.78

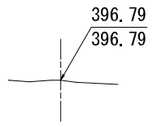
切土	-
盛土	0.03



DL=395.00

ENO.0
GH=396.79
FH=396.79

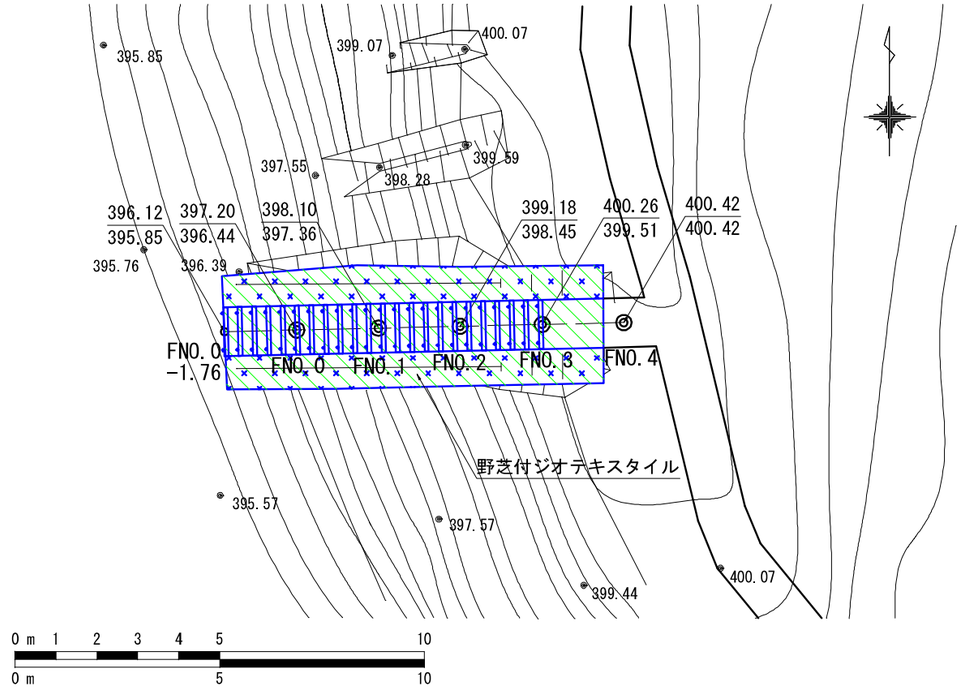
切土	-
盛土	-



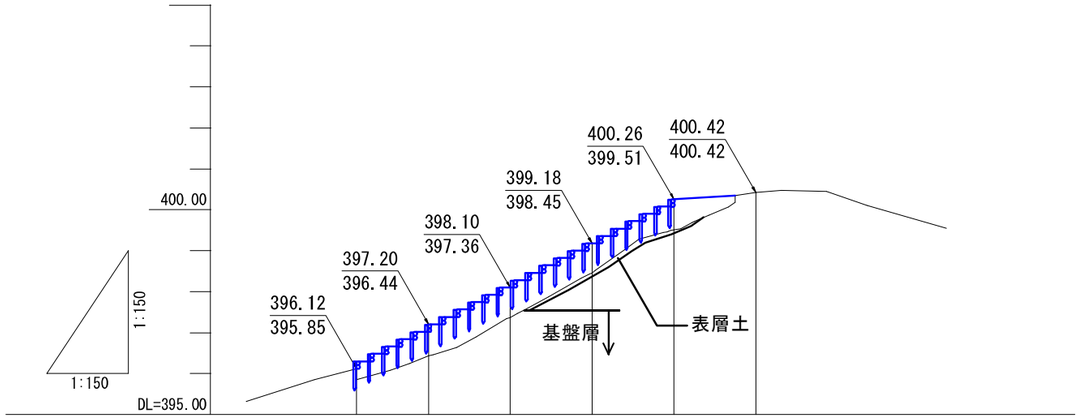
DL=395.00

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	E部 縦断図・横断図 （山頂地区）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=1/150 (A3)	図面番号	8/18
佐　賀　県　基　山　町			

Ｆ部 平面図　S=1/150



Ｆ部 縦断図　S=1/150



勾配						
計画高	396.12	397.20	398.10	399.18	400.26	400.42
地盤高	395.85	396.44	397.36	398.45	399.51	400.42
追加距離	0.00	1.76	3.76	5.76	7.76	9.76
単距離	0.00	1.76	2.00	2.00	2.00	2.00
測点	FNO.4 +1.76	FNO.0	FNO.1	FNO.2	FNO.3	FNO.4

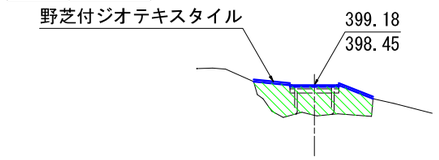
Ｆ部 横断図　S=1/150

凡例
- 現況
- 計画
- 切土
- 盛土
- 計画高 / 現況高

FNO.2

切土	-
盛土	1.78

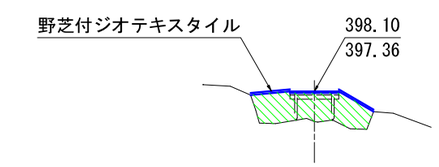
GH=398.45
FH=399.18



FNO.1

切土	-
盛土	1.96

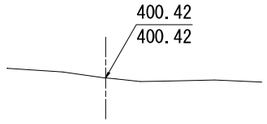
GH=397.36
FH=398.10



FNO.4

切土	-
盛土	-

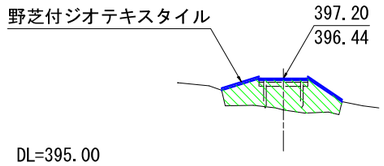
GH=400.42
FH=400.42



FNO.0

切土	-
盛土	1.75

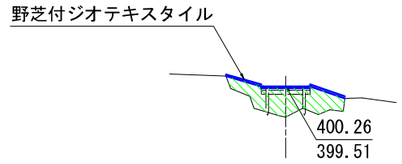
GH=396.44
FH=397.20



FNO.3

切土	-
盛土	1.44

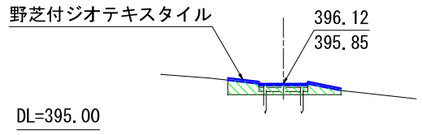
GH=399.51
FH=400.26



FNO.0-1.76

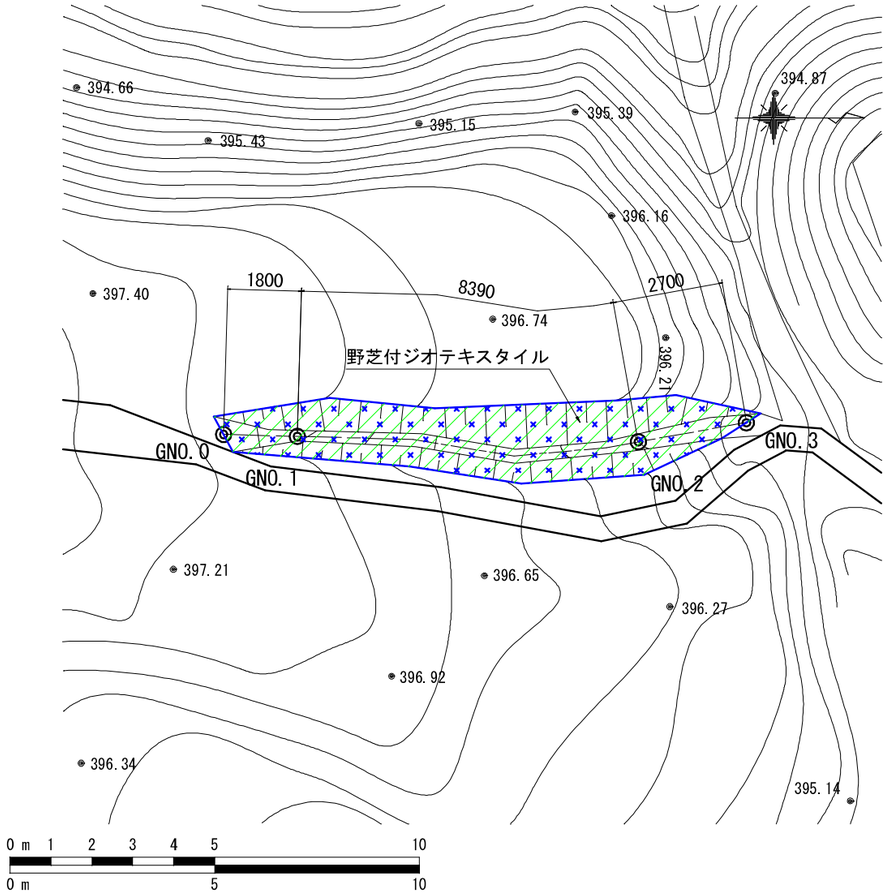
切土	-
盛土	0.67

GH=395.85
FH=396.12

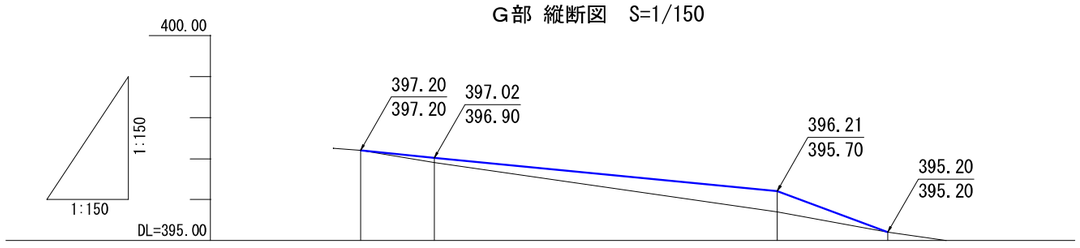


業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託
図面名	Ｆ部 縦断図・横断図 （山頂地区）
年月日	令和 7 年 3 月
縮 尺	S=1/150 (A3)
図面番号	9/18
佐賀県基山町	

G部 平面図　S=1/150



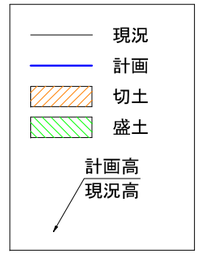
G部 縦断図　S=1/150



勾配					
計画高	397.20	397.02		396.21	395.20
地盤高	397.20	396.90		395.70	395.20
追加距離	0.00	1.80		10.19	12.89
単距離	0.00	1.80		8.39	2.70
測点	GNO.0	GNO.1		GNO.2	GNO.3

G部 横断図　S=1/150

凡例



GNO.3

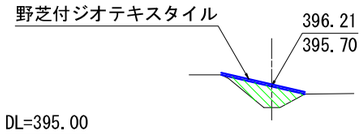
切土	-
盛土	-

GH=395.20
FH=395.20

GNO.2

切土	-
盛土	0.62

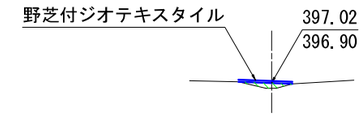
GH=395.70
FH=396.21



GNO.1

切土	-
盛土	0.10

GH=396.90
FH=397.02



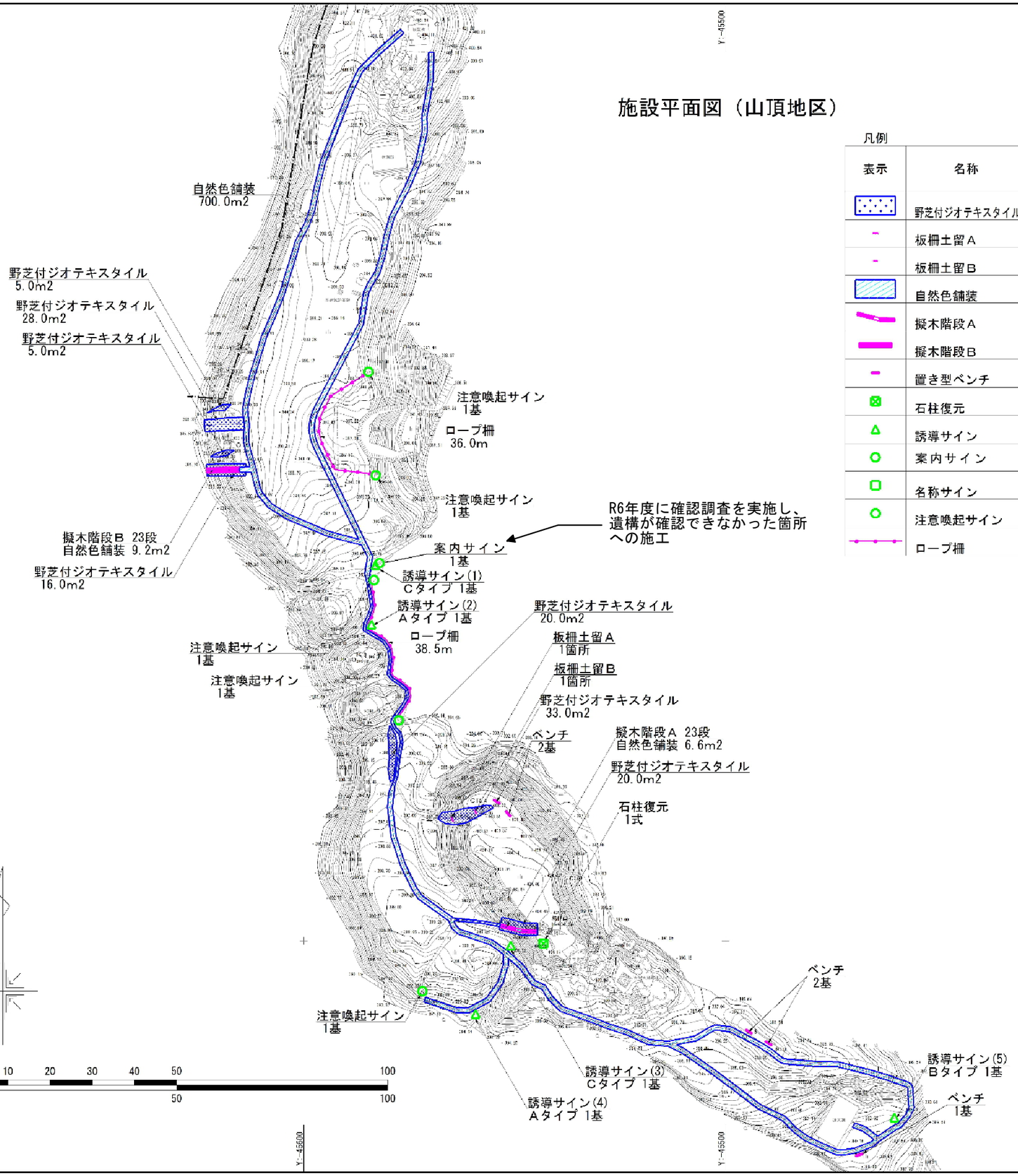
GNO.0

切土	-
盛土	-

GH=397.20
FH=397.20

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	G部 縦断図・横断図 （山頂地区）		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮　尺	S=1/150 (A3)	図面番号	10/18
佐　賀　県　基　山　町			

施設平面図（山頂地区）

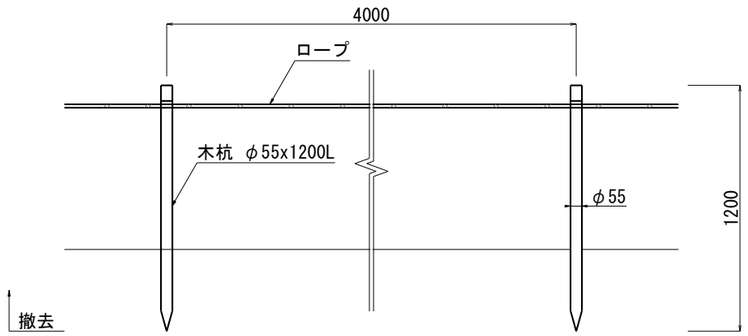


凡例

表示	名称	規格・寸法	数量	単位	備考
	野芝付ジオテキスタイル	1050x3000	127.0	m2	
	板柵土留A	H800 擬木	1	箇所	
	板柵土留B	H1000 擬木	1	箇所	
	自然色舗装	t 40 W600～1200	715.8	m2	
	擬木階段A	W750 二本組木	23	段	
	擬木階段B	W1200 二本組木	23	段	
	置き型ベンチ	W1800	5	基	
	石柱復元	270x270 H1500	1	式	
	誘導サイン	H1200 打込み杭式	5	基	Aタイプ:(2)、(4) Bタイプ:(5) Cタイプ:(1)、(3)
	案内サイン	W1720×H1800 基礎工 GL-750	1	基	
	名称サイン	W150xH1530 打込み杭式	2	基	
	注意喚起サイン	W306xH880 打込み杭式	5	基	
	ロープ柵	H900 @1500 プラ擬木	74.5	m	

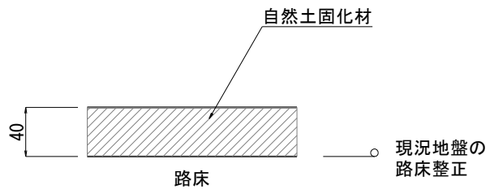
業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	施設平面図 （山頂地区）		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	S=1/1000 (A3)	図面番号	11/18
佐 賀 県 基 山 町			

ロープ柵撤去



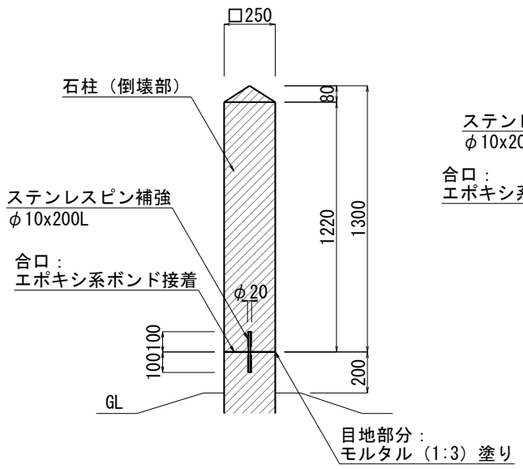
正面図　S=1/30

自然色舗装

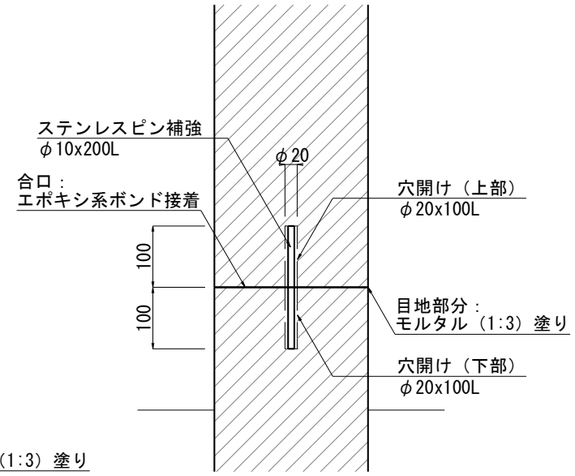


標準断面図　S=1/5

石柱復元（参考図）



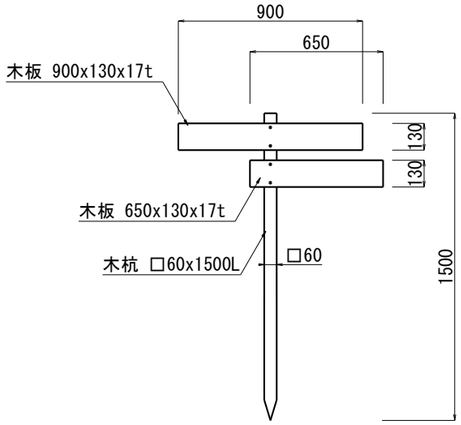
断面図　S=1/30



合口拡大図　S=1/10

※使用機械等：三つ又、発電機、ドリル

誘導サイン撤去

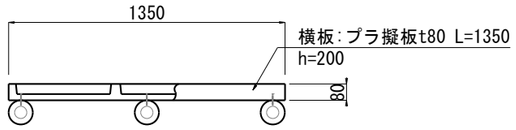


正面図　S=1/30

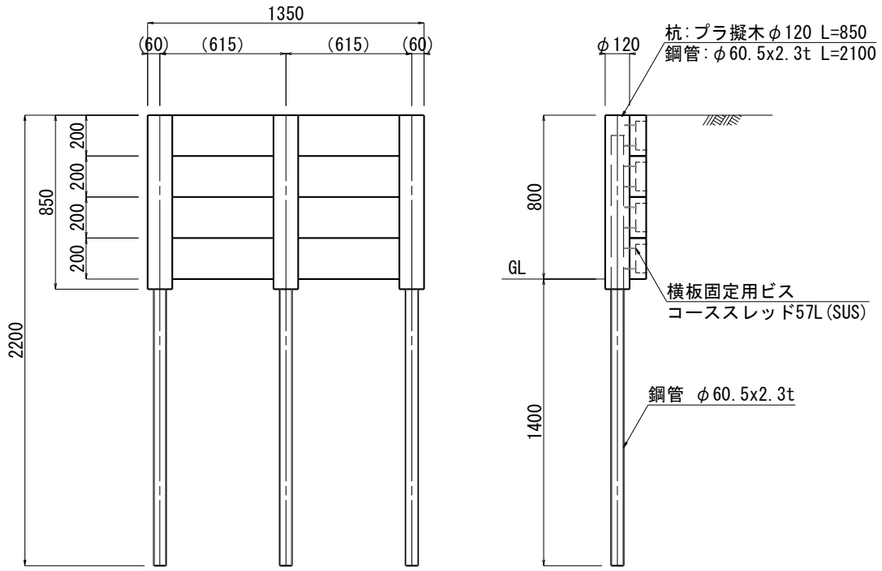
※取外し済みのため、処分のみとする。

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	詳細図-1 （山頂地区）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=図示（A3）	図面番号	12/18
佐　賀　県　基　山　町			

板柵土留Ａ（参考図）



平面図　S=1/30

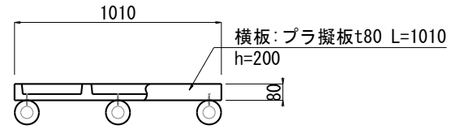


正面図　S=1/30

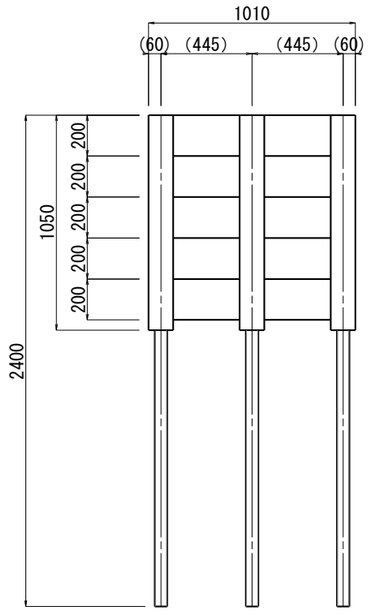
断面図　S=1/30

※横板は、エコマーク認定品（樹脂部はリサイクルプラスチック）とする。
※賠償責任保険加入品とする。
※プラ擬木　　色：ダークブラウン（紫外線吸収剤入り）
　　丸太外観：クヌギ肌模様
　　板材表面：木目模様
※プラ擬木の寸法は標準値である。寸法公差は品質照明書にて確認すること。
※使用鋼管は亜鉛メッキ品　STK400以上

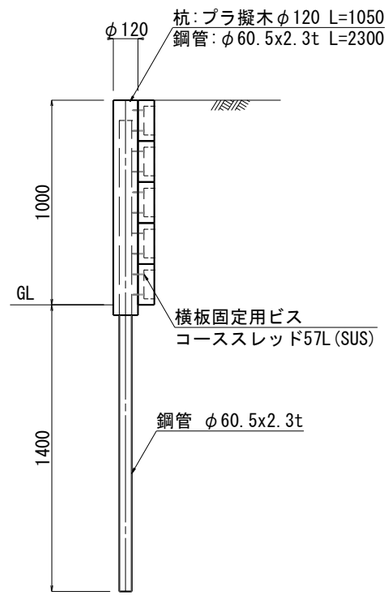
板柵土留Ｂ（参考図）



平面図　S=1/30



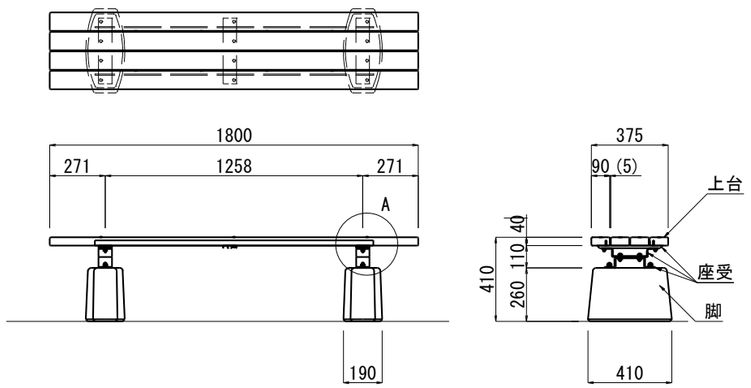
正面図　S=1/30



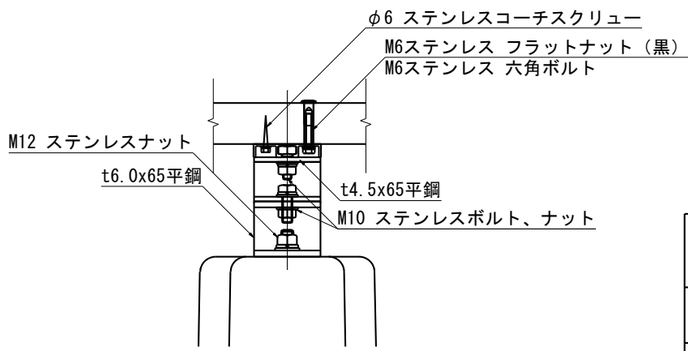
断面図　S=1/30

※横板は、エコマーク認定品（樹脂部はリサイクルプラスチック）とする。
※賠償責任保険加入品とする。
※プラ擬木　　色：ダークブラウン（紫外線吸収剤入り）
　　丸太外観：クヌギ肌模様
　　板材表面：木目模様
※プラ擬木の寸法は標準値である。寸法公差は品質照明書にて確認すること。
※使用鋼管は亜鉛メッキ品　STK400以上

ベンチ（参考図）



外観図　S=1/30

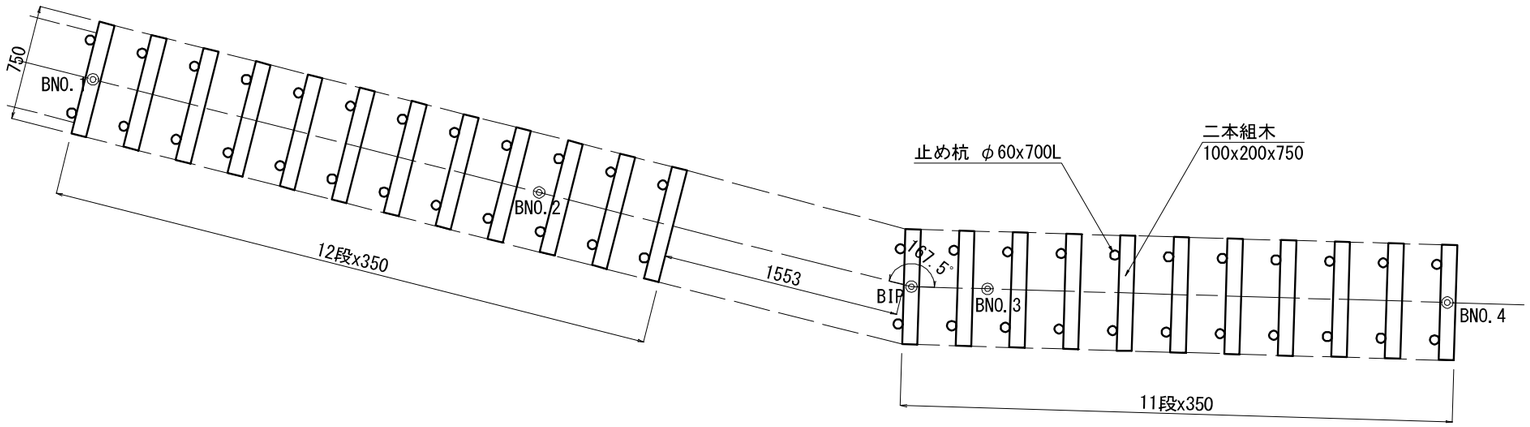


A部詳細図　S=1/3

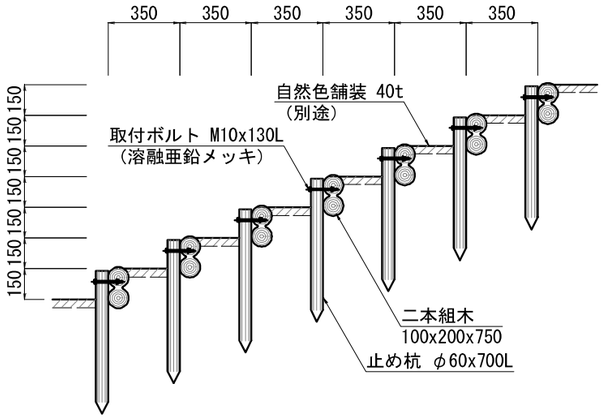
上台　　：REKWOOD2（チャコール）
座受　　：アルミ押出形材　合成樹脂塗装（アースグレー）
　　t4.5x65平鋼
　　ジンクパウダー下地 合成樹脂塗装（アースグレー）
　　t6.0x65平鋼
　　ジンクパウダー下地 合成樹脂塗装（アースグレー）
脚　　：PCコンクリート
質量　　：105kg

※ISO9001 / ISO14001認証取得企業の製品とする。
※(一社)日本公園施設業協会　SPL表示認定企業製品とする。
※(一社)日本公園施設業協会団体賠償責任保険に加入した製品とする。

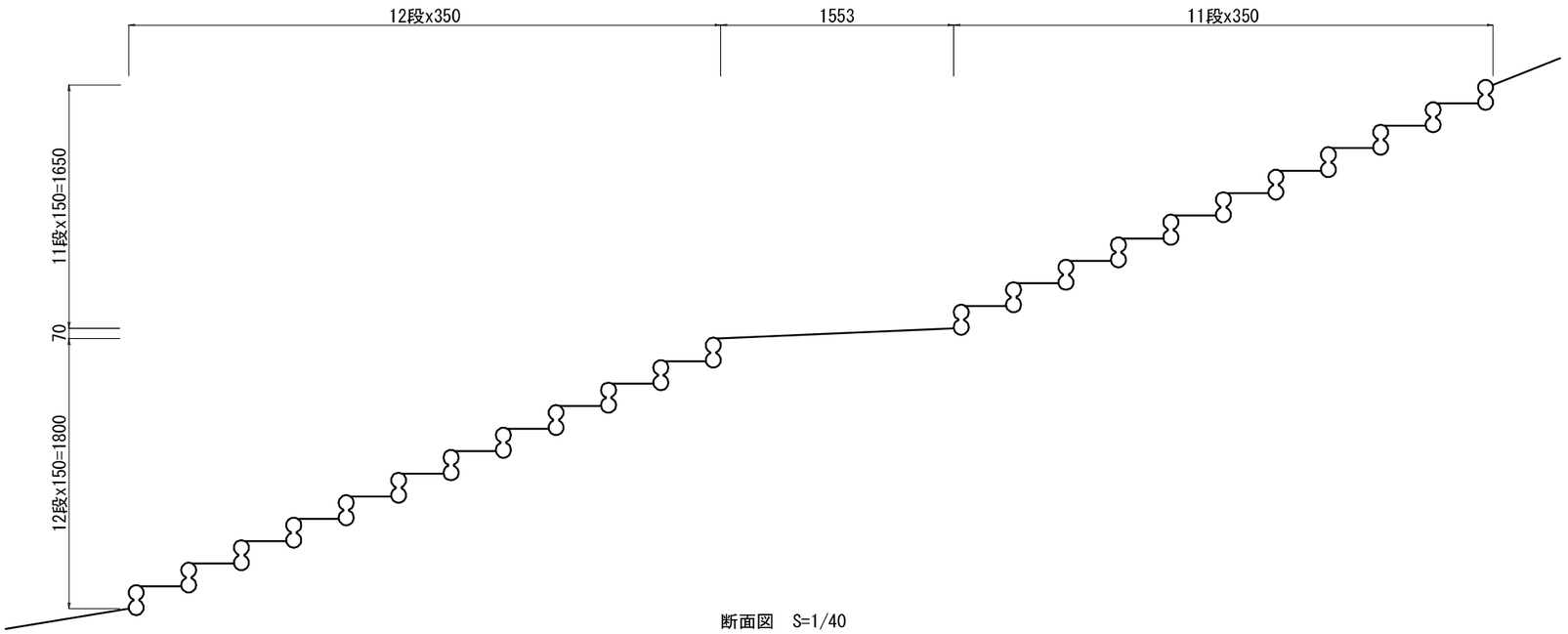
業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	詳細図-2 （山頂地区）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=図示（A3）	図面番号	13/18
佐　賀　県　基　山　町			



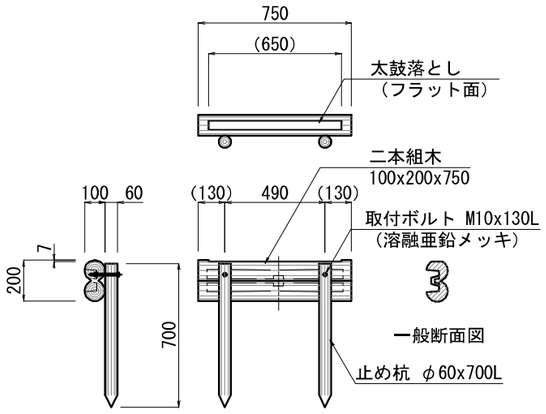
平面図　S=1/40



標準断面図　S=1/30



断面図　S=1/40

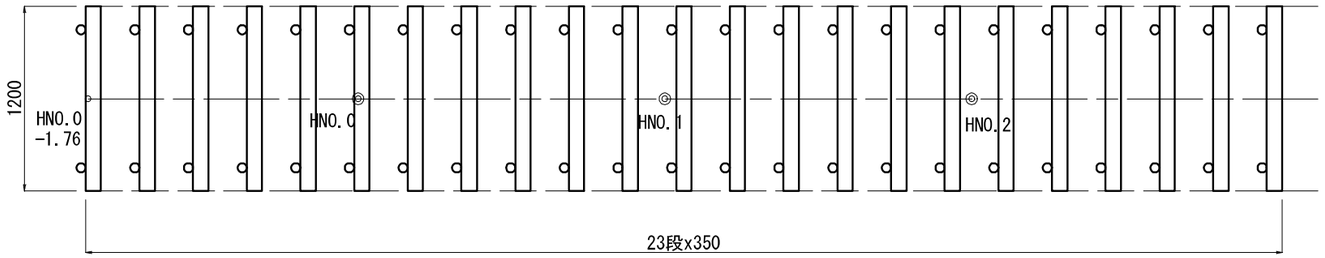


詳細図　S=1/30

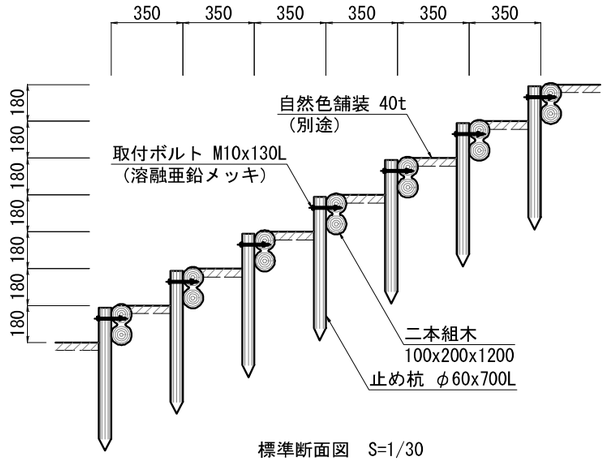
※二本組木・杭は、エコマーク認定品（樹脂部はリサイクルプラスチック）とする。
※賠償責任保険加入品とする。
※プラ擬木　　色：ダークブラウン（紫外線吸収剤入り）
　　丸太外観：クヌギ肌模様
※プラ擬木の寸法は標準値である。寸法公差は品質照明書にて確認すること。
※滑り抵抗係数(C.S.R値) 0.60以上（太鼓落とし部分）

階段Ａ W750 23段			
階段 部材	二本組木	100x200x750	23本
	止め杭	φ60x700L	46本
	取付ボルト	M10x130L（溶融亜鉛メッキ）	46本

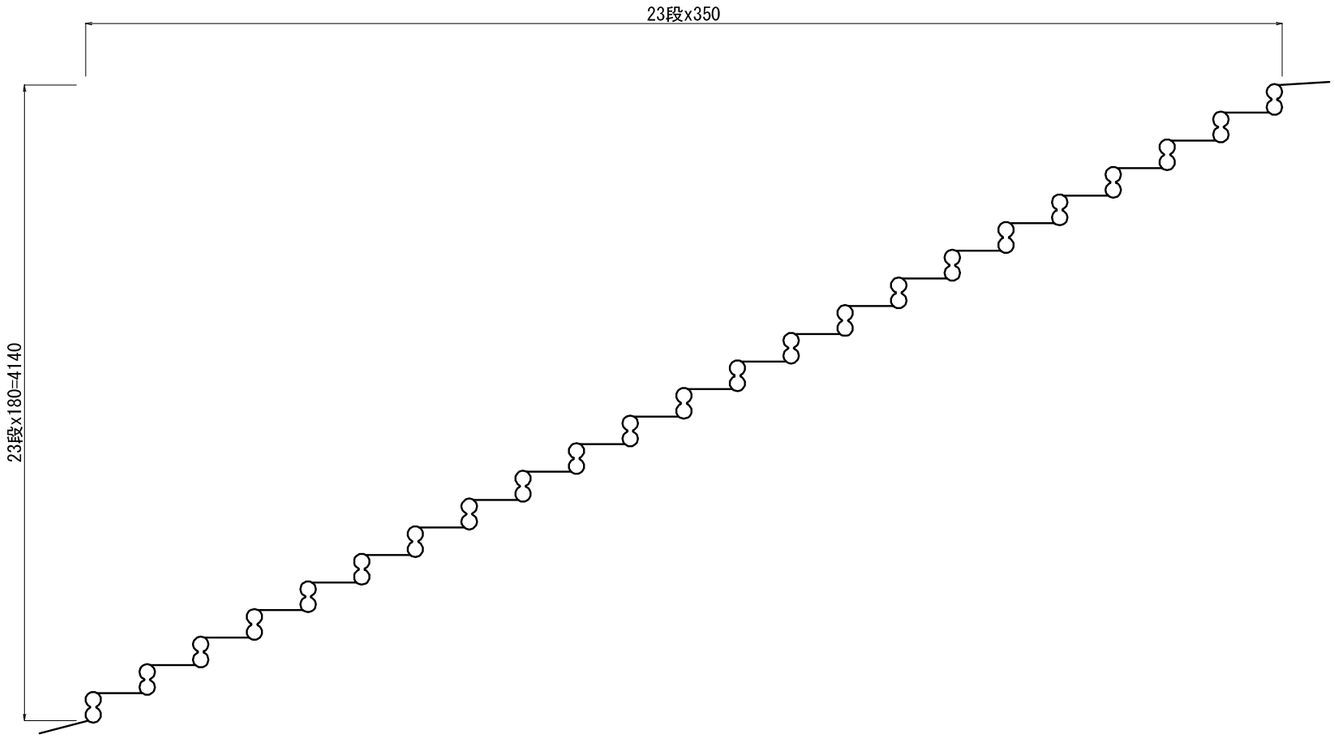
業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	詳細図-3 （山頂地区）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=図示（A3）	図面番号	14/18
佐　賀　県　基　山　町			



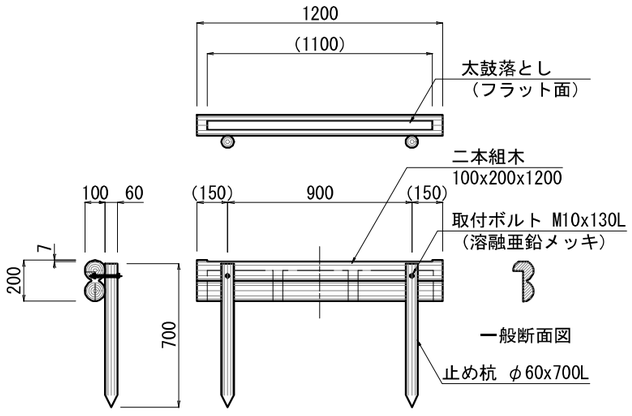
平面図　S=1/40



標準断面図　S=1/30



断面図　S=1/40



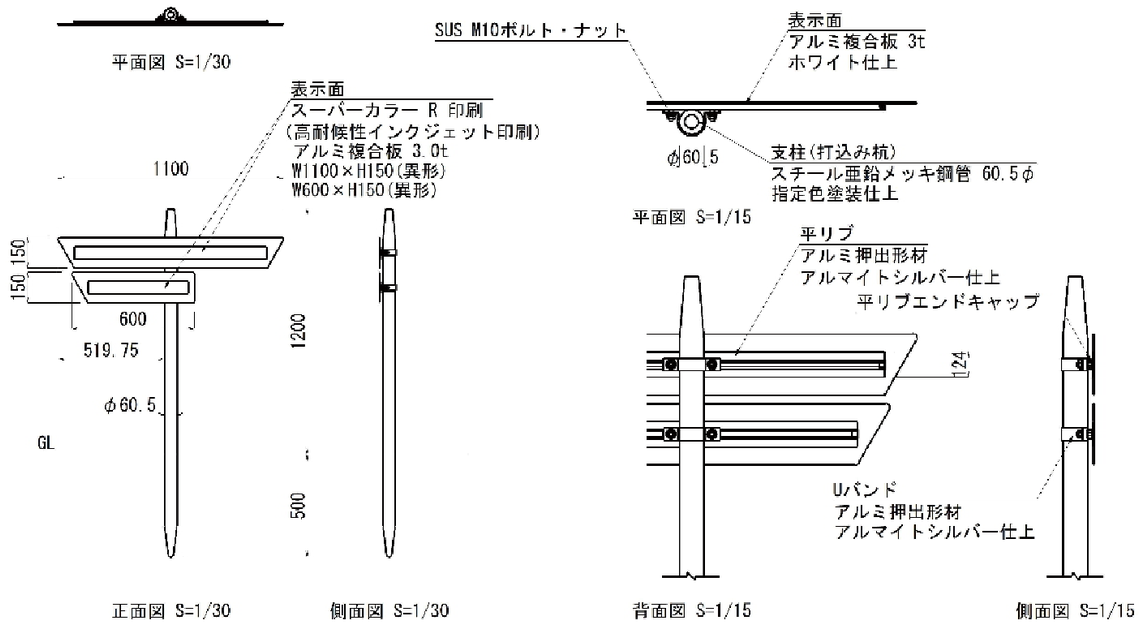
詳細図　S=1/30

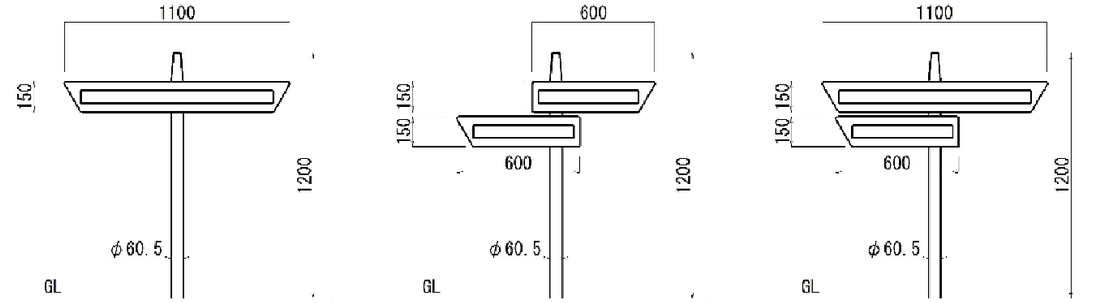
階段Ｂ W1200 23段			
階段 部材	二本組木	100x200x1200	23本
	止め杭	φ60x700L	46本
	取付ボルト	M10x130L（溶融亜鉛メッキ）	46本

※二本組木・杭は、エコマーク認定品（樹脂部はリサイクルプラスチック）とする。
※賠償責任保険加入品とする。
※プラ擬木　　色：ダークブラウン（紫外線吸収剤入り）
　　丸太外観：クヌギ肌模様
※プラ擬木の寸法は標準値である。寸法公差は品質照明書にて確認すること。
※滑り抵抗係数(C.S.R値) 0.60以上（太鼓落とし部分）

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	詳細図-4 （山頂地区）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=図示（A3）	図面番号	15/18
佐　賀　県　基　山　町			

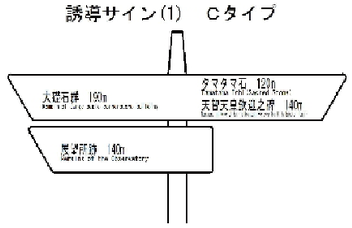
誘導サイン（参考図）



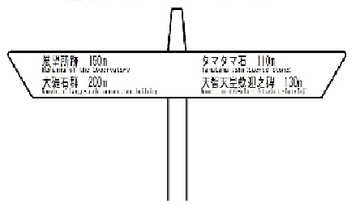


Aタイプ（１段２方向） S=1/30　　Bタイプ（２段２方向） S=1/30　　Cタイプ（２段３方向） S=1/30

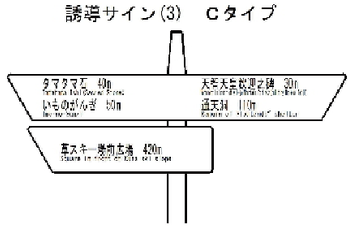
誘導サイン(1)　Cタイプ



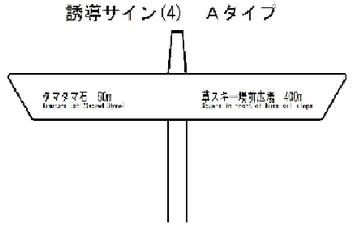
誘導サイン(2)　Aタイプ



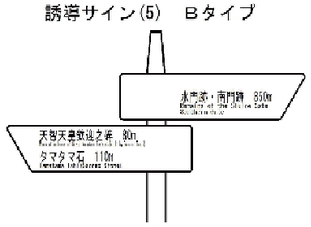
誘導サイン(3)　Cタイプ



誘導サイン(4)　Aタイプ



誘導サイン(5)　Bタイプ



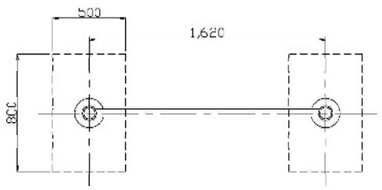
参考レイアウト　S=1/20

※遺構に影響のない箇所に設置

[特記事項]
※表示内容・書体は、監督員と協議の上決定すること。
※部材寸法は標準値とする。
※(一社)日本公園施設業協会賠償責任制度による、賠償責任保険加入製品とする。
※(一社)日本公園施設業協会が認定した「SPL表示認定企業」の設計・製造・販売製品とする。
※本製品は、ISO 9001:2015認証取得企業製品とする。

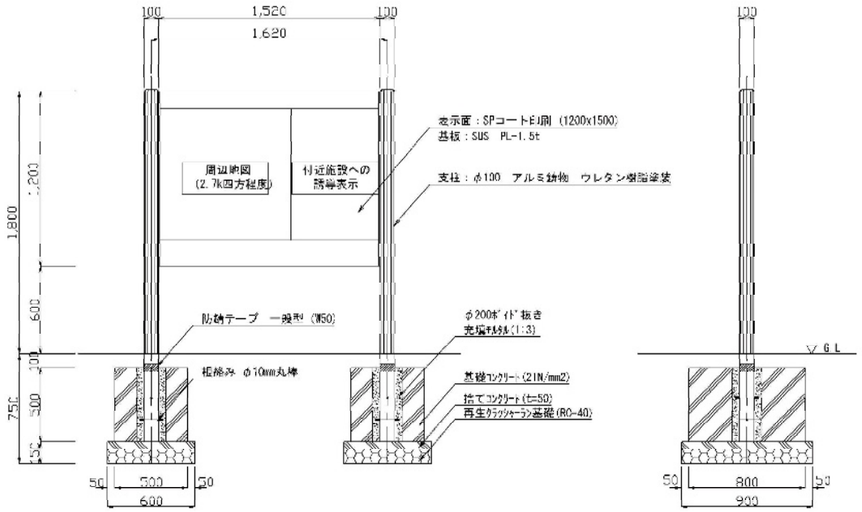
案内サイン

※確認調査を行い遺構が確認できなかったイモノガンギ道分かれ箇所に設置



案内サイン

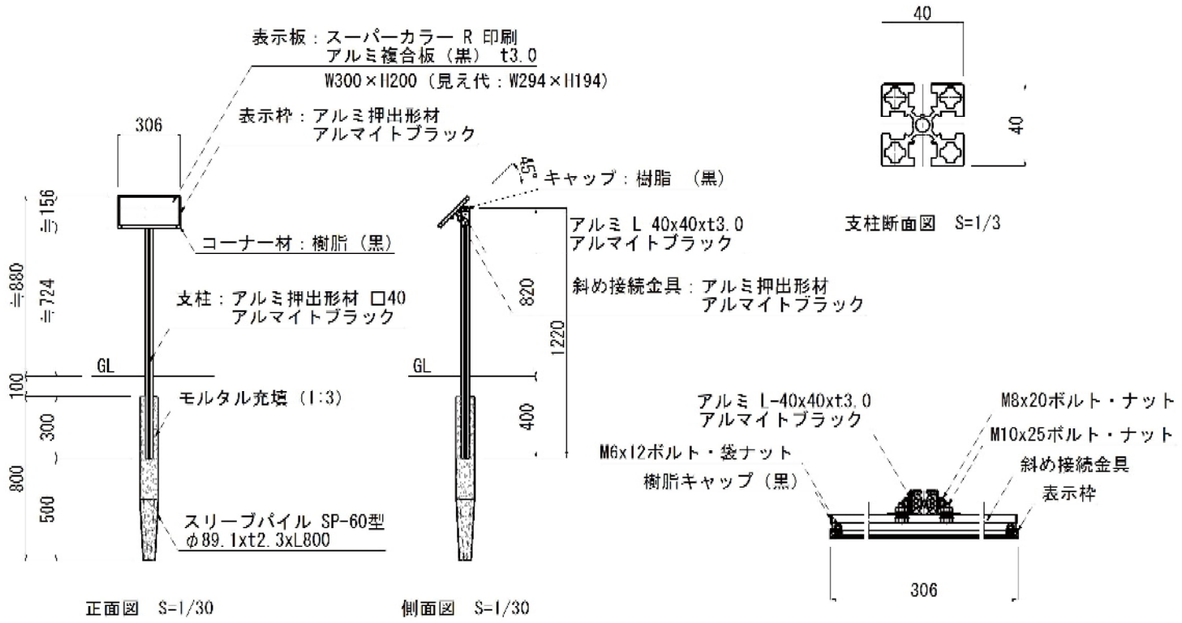
平面図 S=1:20



立面図 S=1:20　　側面図 S=1:20

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	詳細図-5 （山頂地区）		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	S=図示 (A3)	図面番号	16/18
佐 賀 県 基 山 町			

注意喚起サイン（参考図）



※遺構に影響のない箇所に設置

（遊歩道進入禁止箇所）

294

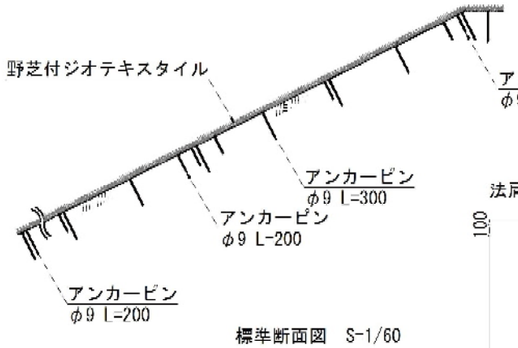
（ロープ柵箇所）

294

参考レイアウト S=1/10

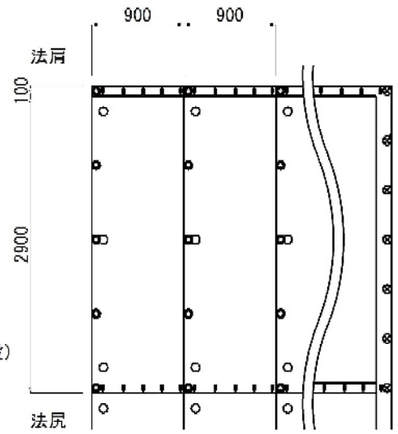
【特記事項】
※表示内容・寸体は、監督員と協議の上決定すること。
※部材寸法は標準値とする。
※(一社)日本公園施設業協会賠償責任制度による、賠償責任保険加入製品とする。
※(一社)日本公園施設業協会が認定した「SPL表示認定企業」の設計・製造・販売製品とする。
※本製品は、ISO 9001:2015認証取得企業製品とする。

野芝付ジオテキスタイル（参考図）

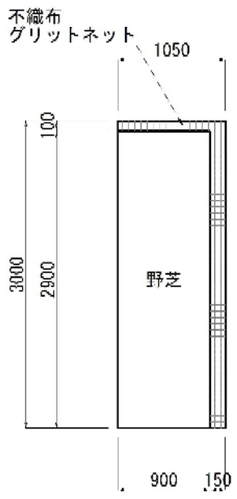


標準断面図 S-1/60

- アンカーピン φ9 L=300（芝の上から打設）
- アンカーピン φ9 L=200
- アンカーピン φ9 L=200（5本/m・芝の上から打設）



アンカー打設標準図 S=1/60



詳細図 S=1/60

野芝付ジオテキスタイル標準規格　（単位：mm）

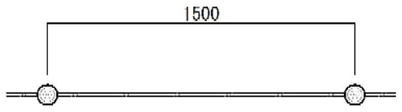
規格 幅	規格 長さ	不織布 素材	不織布 色	グリットネット 素材	グリットネット 被覆材	グリットネット 色	植生 芝種	植生 野芝
1,050 (900)	3,000 (2,900)	ポリエステル繊維	白	ポリエステル系	アクリル系熱硬化樹脂	黒		

（　　）内は芝付け寸法

材料表（法面部）　（100m2当り）

名称	形状	単位	数量	備考
野芝付ジオテキスタイル	1,050×3,000	m2	108	植生部 900×7,900 割増率8%
アンカーピン	φ9、L=300	本	180	
アンカーピン	φ9、L=200	本	390	
埋土材料		m3	1	有害物を含まない砂質系土壌を標準とする。

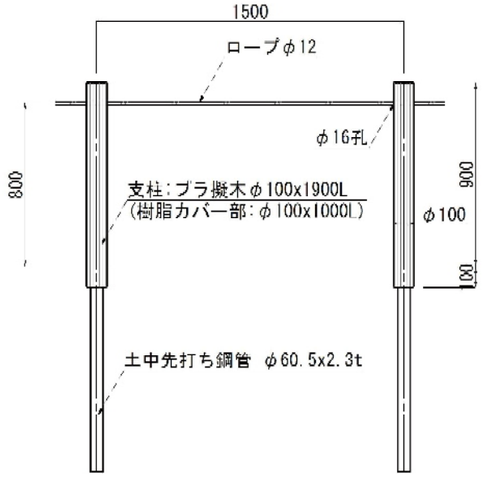
ロープ柵（参考図）



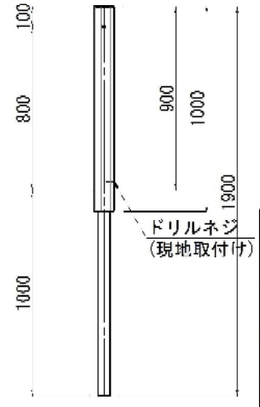
平面図 S=1/30

※支柱は、エコマーク認定品（樹脂部はリサイクルプラスチック）とする。
※賠償責任保険加入品とする。
※プラ擬木　　色：ダークブラウン（紫外線吸収剤入り）
　　外観：クヌギ肌模様
※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上とする。
※プラ擬木の寸法は標準値である。寸法公差は品質照明書にて確認すること。

※遺構に影響のない箇所に設置



正面図 S=1/30



側面図 S=1/30

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託
図面名	詳細図-6 （山頂地区）
年月日	令和 7 年 3 月
縮尺	S=図示（A3）　図面番号 13/18
佐賀県基山町	

目次・位置図（遊歩道1）

目　次

図面番号	図　面　名　称	縮　尺	備　考
1	目次・位置図	1/10000	
2	現況平面図	1/100	
3	造成平面図	1/100	
4	縦断図	1/100	
5	横断図-1	1/100	
6	横断図-2	1/100	
7	施設平面図	1/100	
8	詳細図-1	図示	支柱、舗装、水路用マット
9	詳細図-2	図示	プラ擬木階段

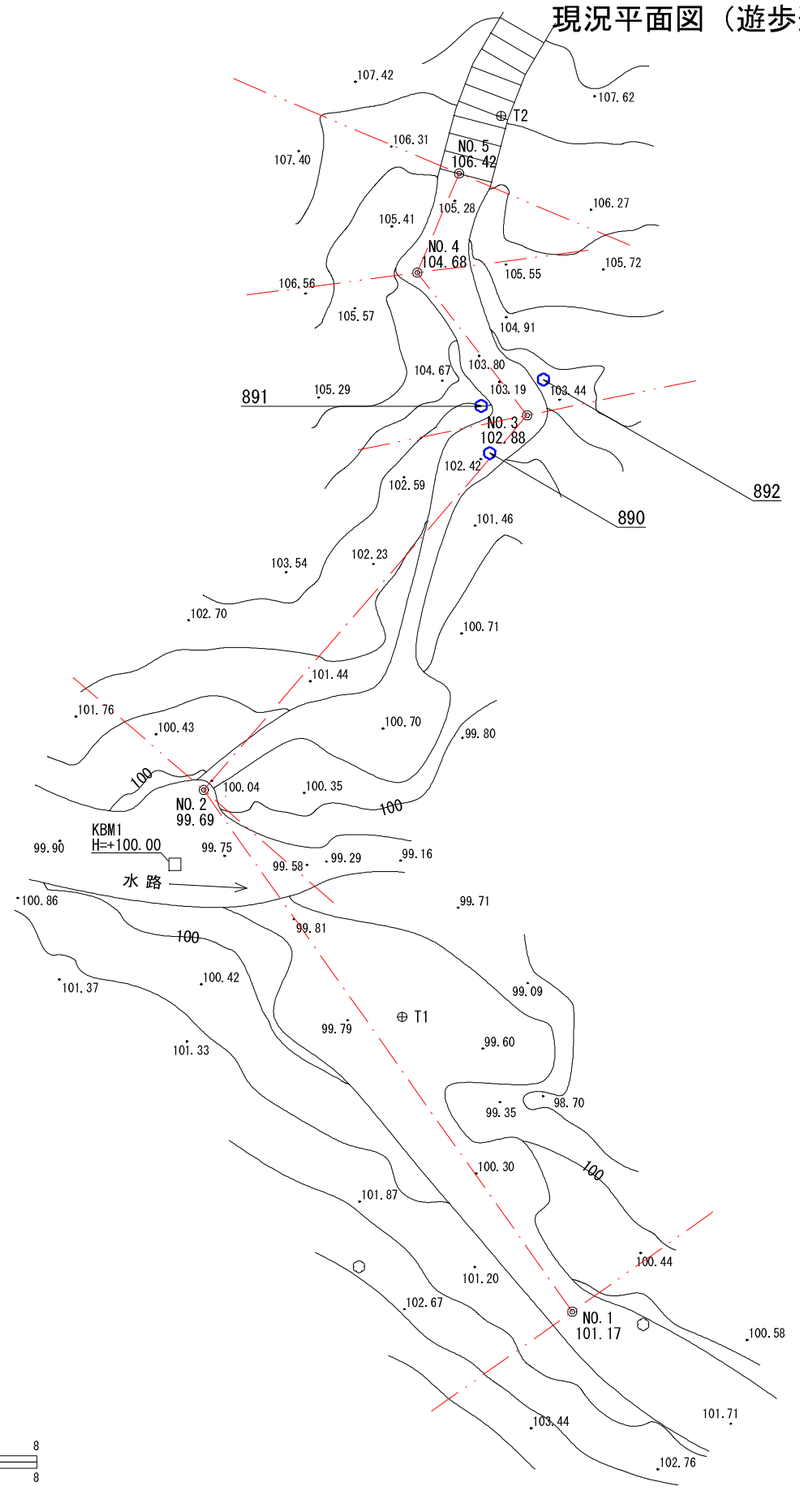
位置図

S=1/10000

0　100　200　300　400　500m

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	目次・位置図 （遊歩道-1）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S1/10000 (A3)	図面番号	1/9
佐　賀　県　基　山　町			

現況平面図（遊歩道-1）



■樹木伐採

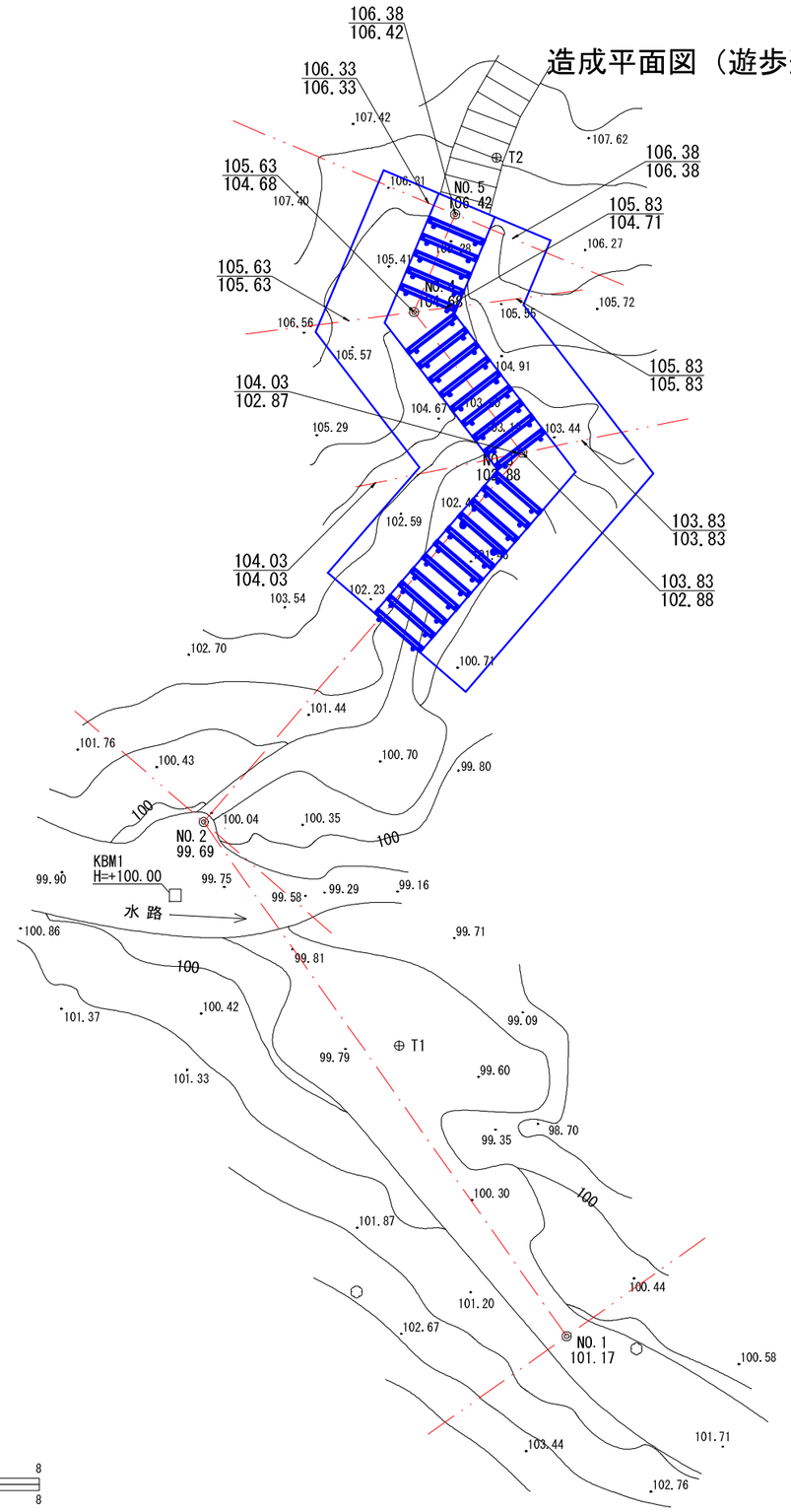
890 倒木　樹高10.0m　幹周0.85m
891 スギ　樹高17.0m　幹周1.19m
892 スギ　樹高17.0m　幹周1.22m

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	現況平面図 （遊歩道-1）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=1/100（A3）	図面番号	2/9
佐　賀　県　基　山　町			

造成平面図（遊歩道-1）

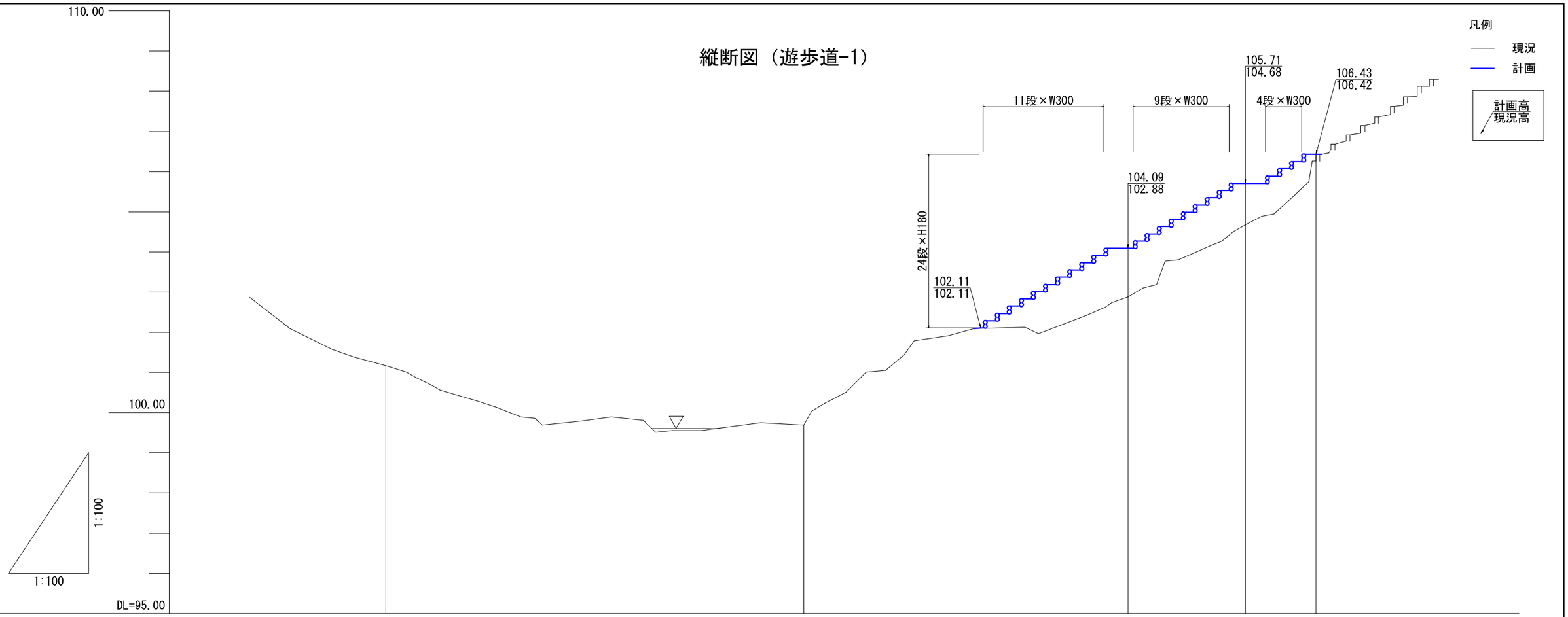
凡例

計画高
現況高



業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	造成平面図 （遊歩道-1）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=1/100（A3）	図面番号	3/9
佐　賀　県　基　山　町			

縦断図（遊歩道-1）



測点	NO.1	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5
単距離	0.00	10.40	8.07	2.93	1.75
追加距離	0.00	10.40	18.47	21.40	23.15
地盤高	101.17	99.69	102.88	104.68	106.42
計画高	101.17	99.99	104.09	105.71	106.43

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	縦断図 （遊歩道-1）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=1/100 (A3)	図面番号	4/9
佐　賀　県　基　山　町			

横断図-1（遊歩道-1）

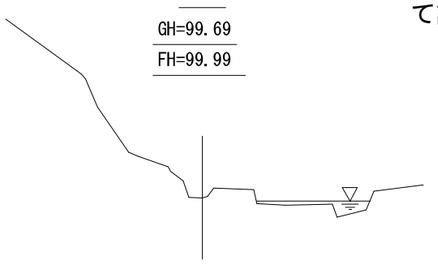
盛土施工に際しては、「宅地造成及び特定盛土等規制法施行令」第7条（地盤について講ずる措置に関する技術的基準」に基づき30cm転圧にて施工するものとする。

凡例
- 現況
- 計画
- 切土
- 盛土
- 計画高 / 現況高

NO.2

GH=99.69

FH=99.99



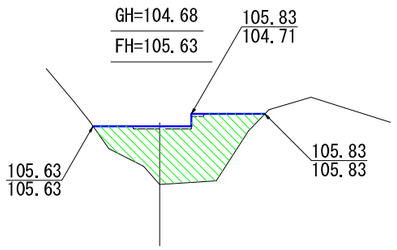
切土	0.00
盛土	0.00

DL=95.00

NO.4

GH=104.68

FH=105.63



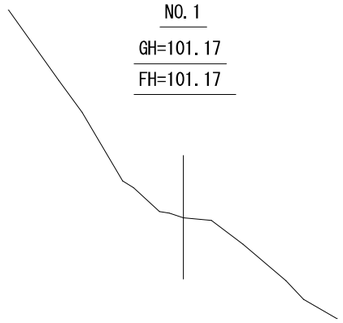
切土	0.00
盛土	1.82

DL=100.00

NO.1

GH=101.17

FH=101.17



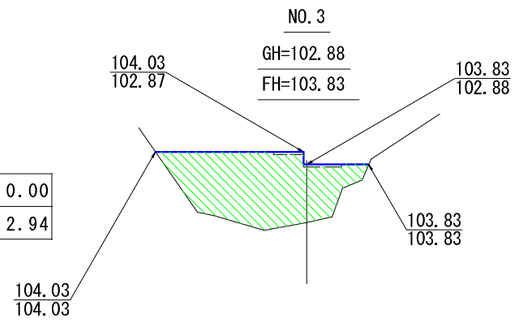
切土	0.00
盛土	0.00

DL=95.00

NO.3

GH=102.88

FH=103.83



切土	0.00
盛土	2.94

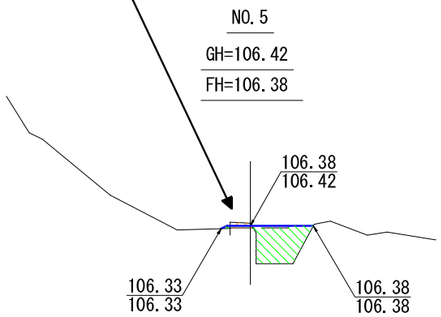
DL=100.00

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	横断図-1 （遊歩道-1）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=1/100 (A3)	図面番号	5/9
佐　賀　県　基　山　町			

横断図-2（遊歩道-1）

凡例
- 現況
- 計画
- 切土
- 盛土
- 計画高 / 現況高

既存階段とのすりつけ箇所の切土

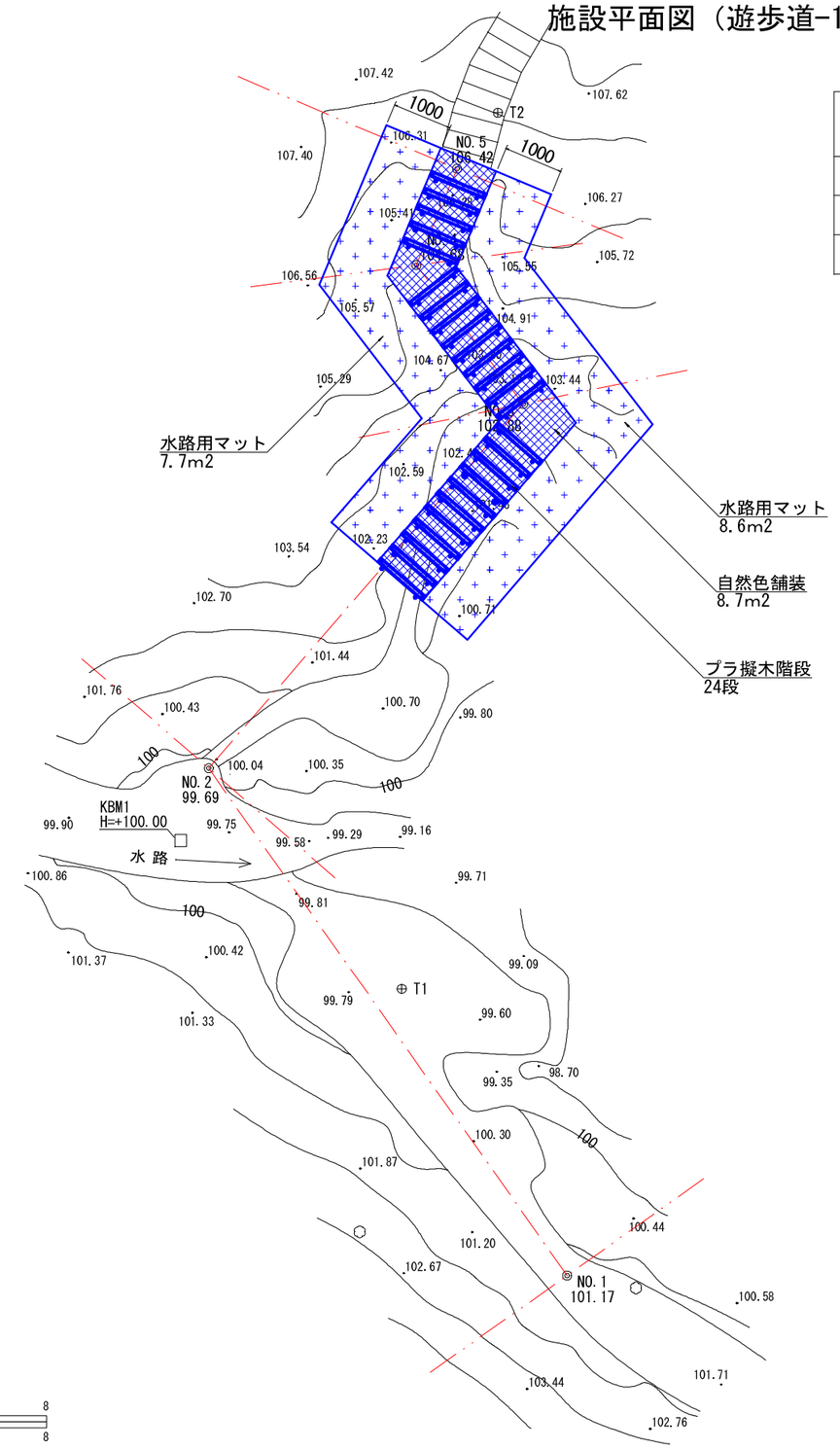


切土	0.03
盛土	0.46

DL=100.00

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	横断図-2 （遊歩道-1）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=1/100 (A3)	図面番号	6/9
佐　賀　県　基　山　町			

施設平面図（遊歩道-1）



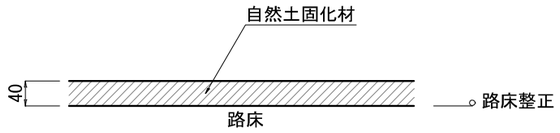
凡例

表示	名称	規格・寸法	数量	単位	備考
	水路用マット	1000 x 2000	16.3	m2	
	自然色舗装	t 40	8.7	m2	階段ふみ面の舗装
	プラ擬木階段	W1000	24.0	段	

0 m 2 4 6 8
0 m 4 8

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	施設平面図 （遊歩道-1）		
年月日	令和 7 年 3 月		
縮 尺	S=1/100 (A3)	図面番号	7/9
佐 賀 県 基 山 町			

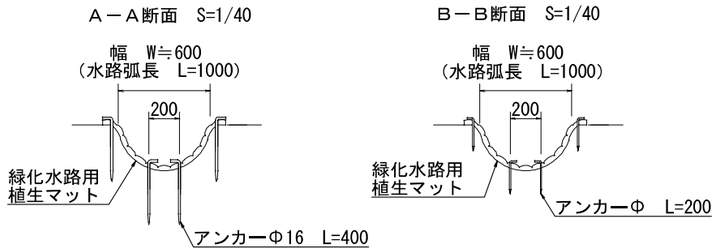
自然色舗装（参考図）



標準断面図　S=1/10

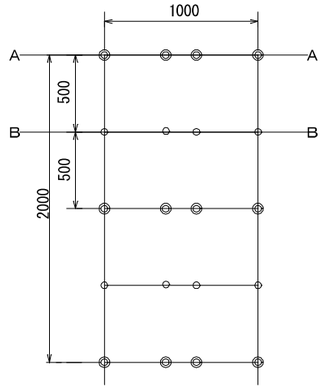
水路用マット（参考図）

標準横断図



※マットは現況地形に合わせて設置を行う

標準展開図



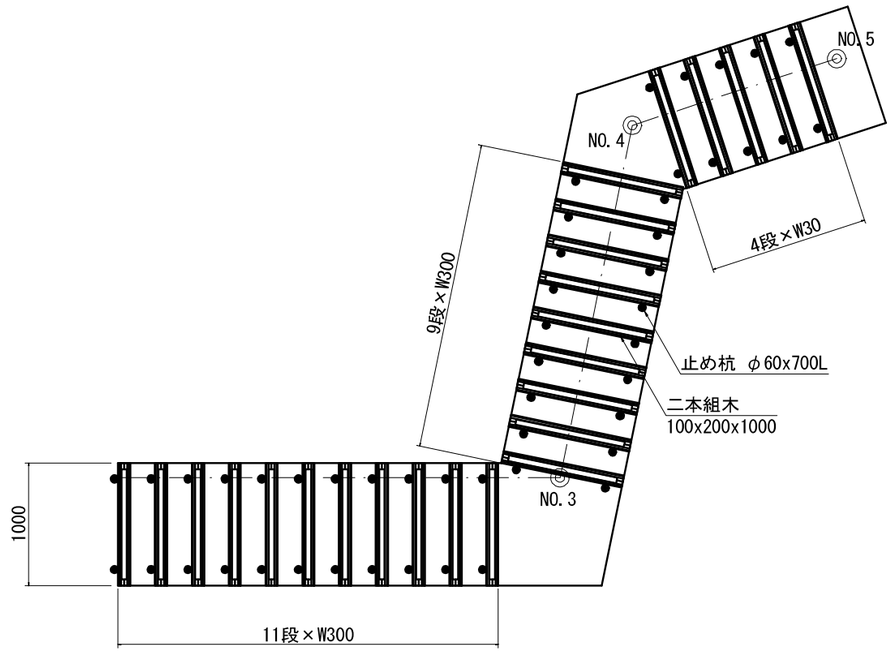
◎ アンカー　φ16 L＝400
○ アンカー　φ9 L＝200

緑化水路用植生マット　諸元　（単位：mm）

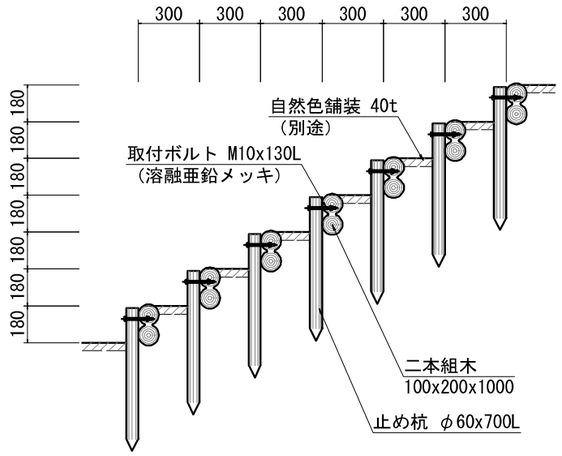
幅	長さ	ネット			備考
		上層	下層	色	
1,000	2,000	ポリエチレン	吸い出し防止材（ジュート）	ブラウン	全面客土入り

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	詳細図-1 （遊歩道-1）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=図示（A3）	図面番号	8/9
佐　賀　県　基　山　町			

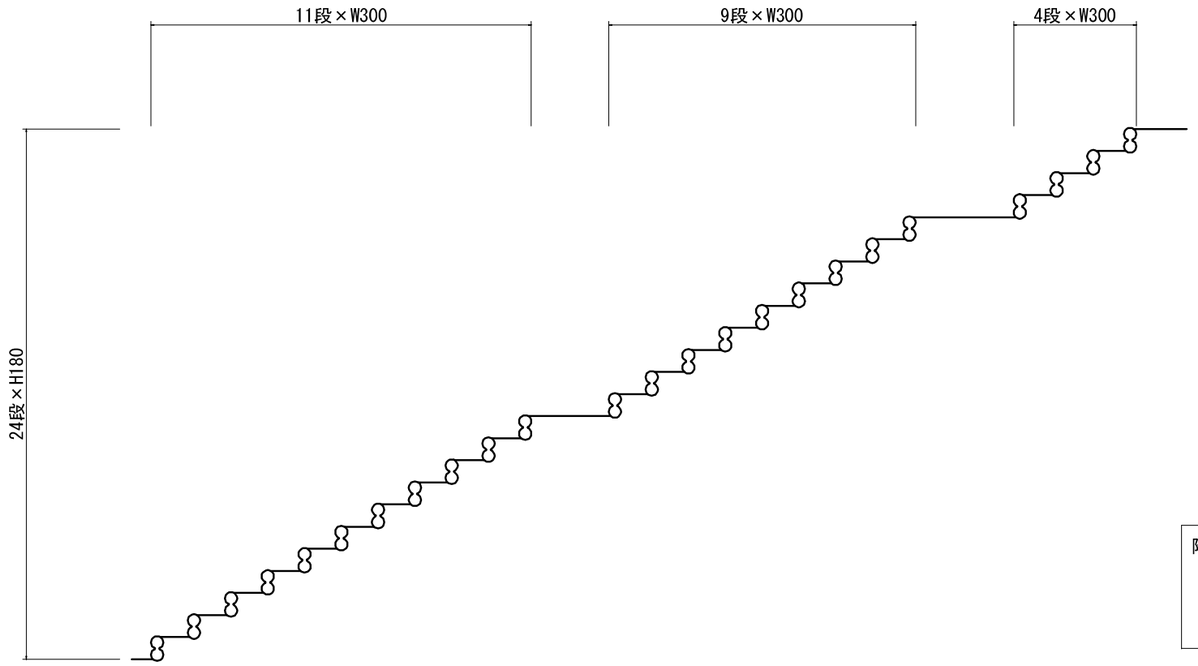
プラ擬木階段（参考図）



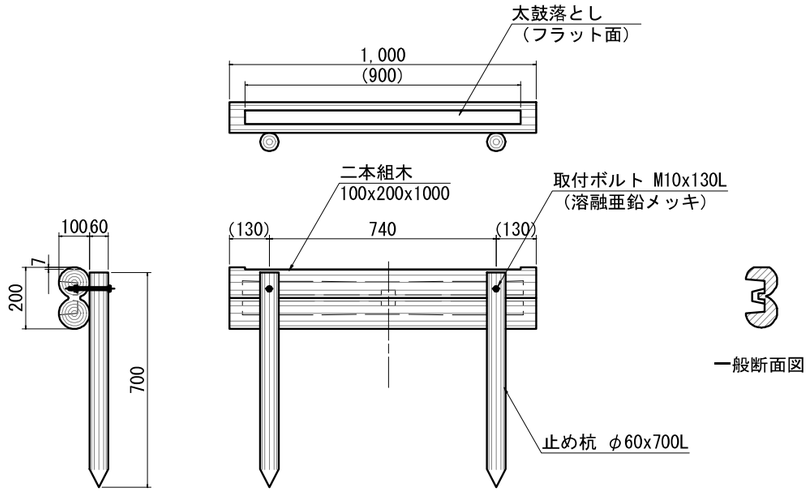
平面図　S=1/50



標準断面図　S=1/30



断面図　S=1/50



一般断面図

詳細図　S=1/20

階段 部材	二本組木	100x200x1000	24本
	止め杭	φ60x700L	48本
	取付ボルト	M10x130L（溶融亜鉛メッキ）	48本

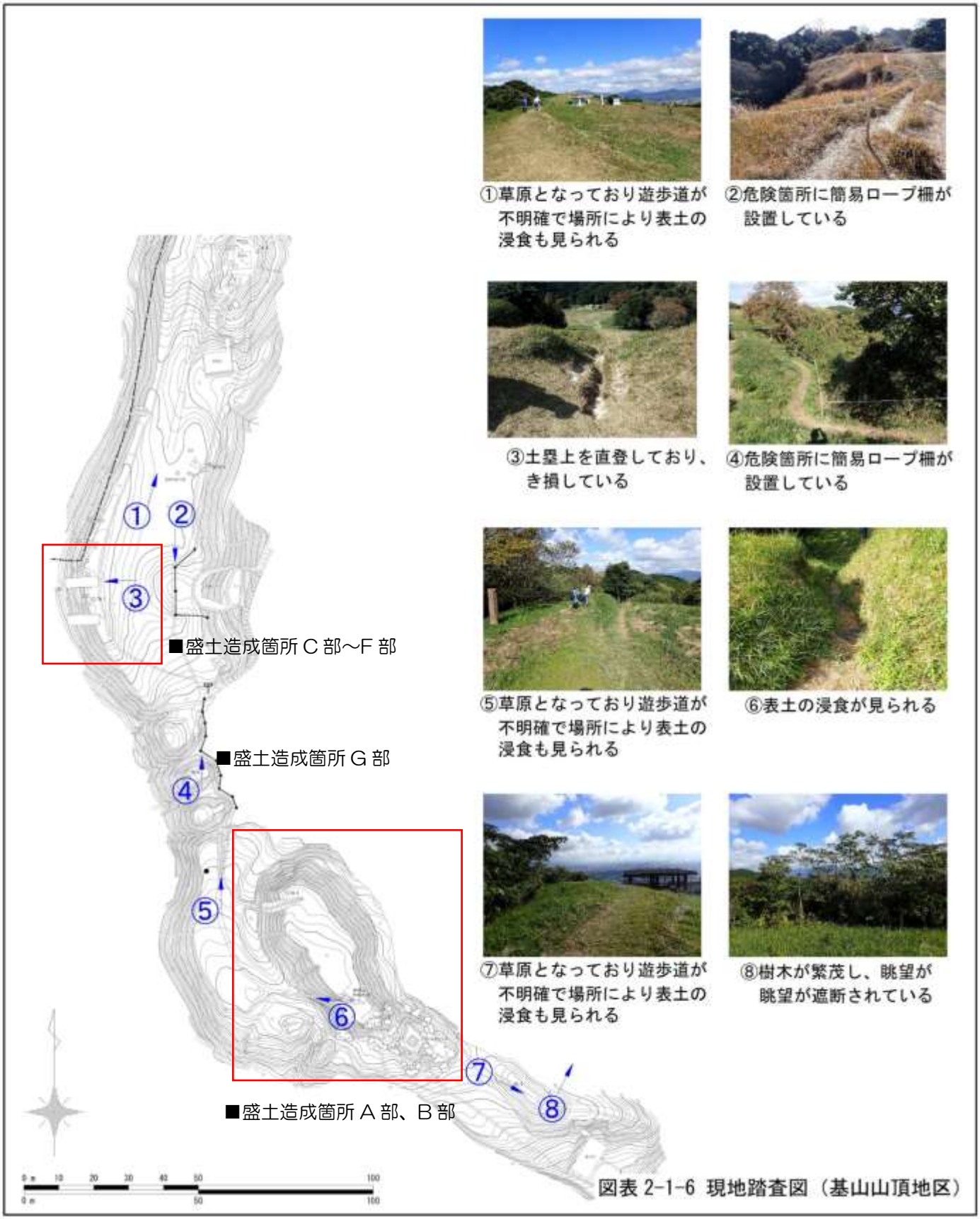
※二本組木・杭は、エコマーク認定品（樹脂部はリサイクルプラスチック）とする。
※賠償責任保険加入品とする。
※プラ擬木　　色：ダークブラウン（紫外線吸収剤入り）
　　丸太外観：クヌギ肌模様
※プラ擬木の寸法は標準値である。寸法公差は品質照明書にて確認すること。
※滑り抵抗係数(C.S.R値) 0.60以上（太鼓落とし部分）

業務名	特別史跡基肄城跡保存整備 実施設計業務委託		
図面名	詳細図-2 （遊歩道-1）		
年月日	令和　7 年　3 月		
縮　尺	S=図示（A3）	図面番号	9/9
佐　賀　県　基　山　町			

（６）保存整備工事箇所現況写真

各整備工事地区の範囲【赤枠範囲】

●山頂地区現況



①草原となっており遊歩道が不明確で場所により表土の浸食も見られる

②危険箇所に簡易ロープ柵が設置している

③土塁上を直登しており、き損している

④危険箇所に簡易ロープ柵が設置している

⑤草原となっており遊歩道が不明確で場所により表土の浸食も見られる

⑥表土の浸食が見られる

⑦草原となっており遊歩道が不明確で場所により表土の浸食も見られる

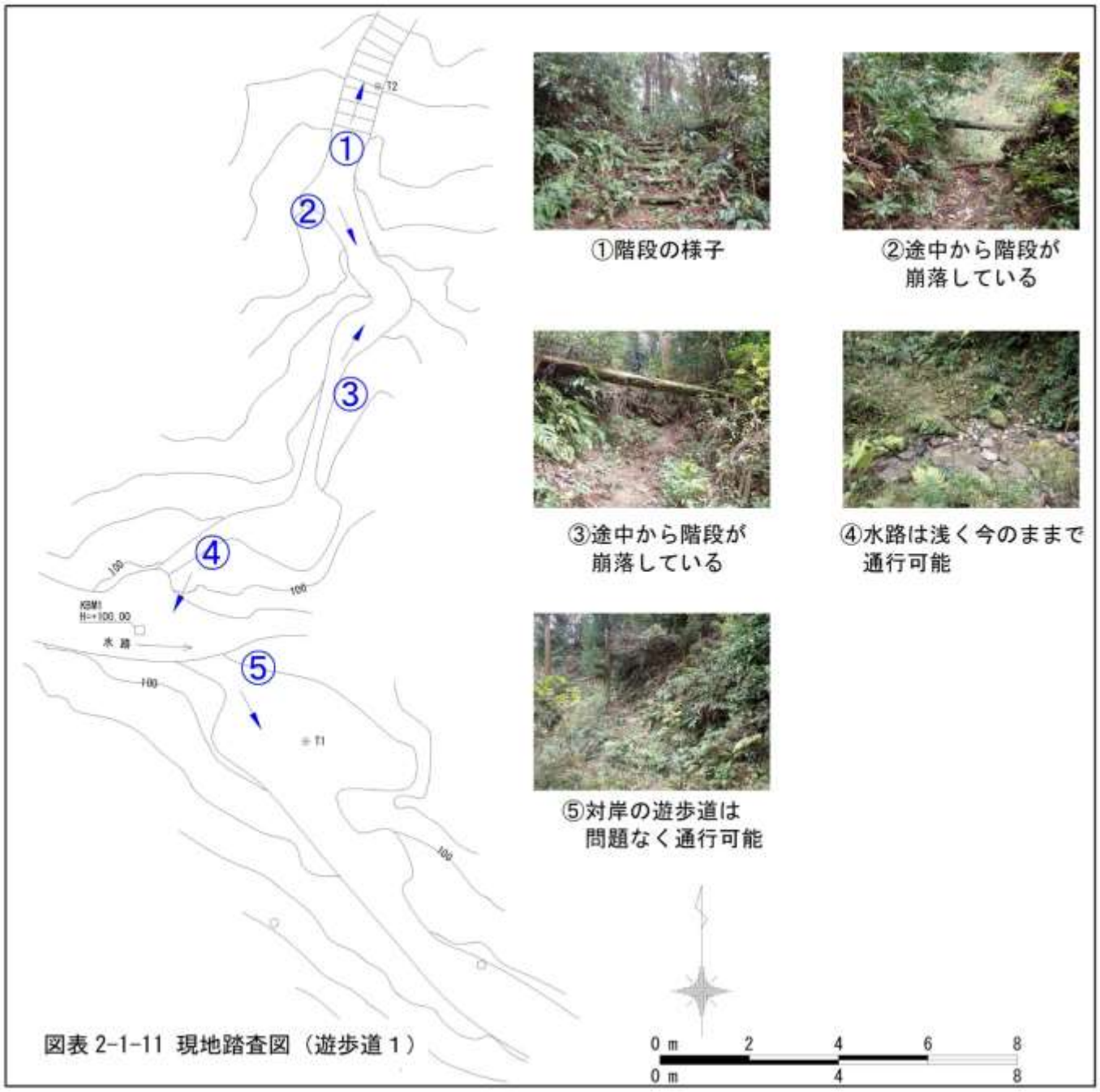
⑧樹木が繁茂し、眺望が眺望が遮断されている

図表 2-1-6 現地踏査図（基山山頂地区）

■盛土造成 A 部・B 部現況

■盛土造成 C 部～F 部

●遊歩道１地区現況



①階段の様子

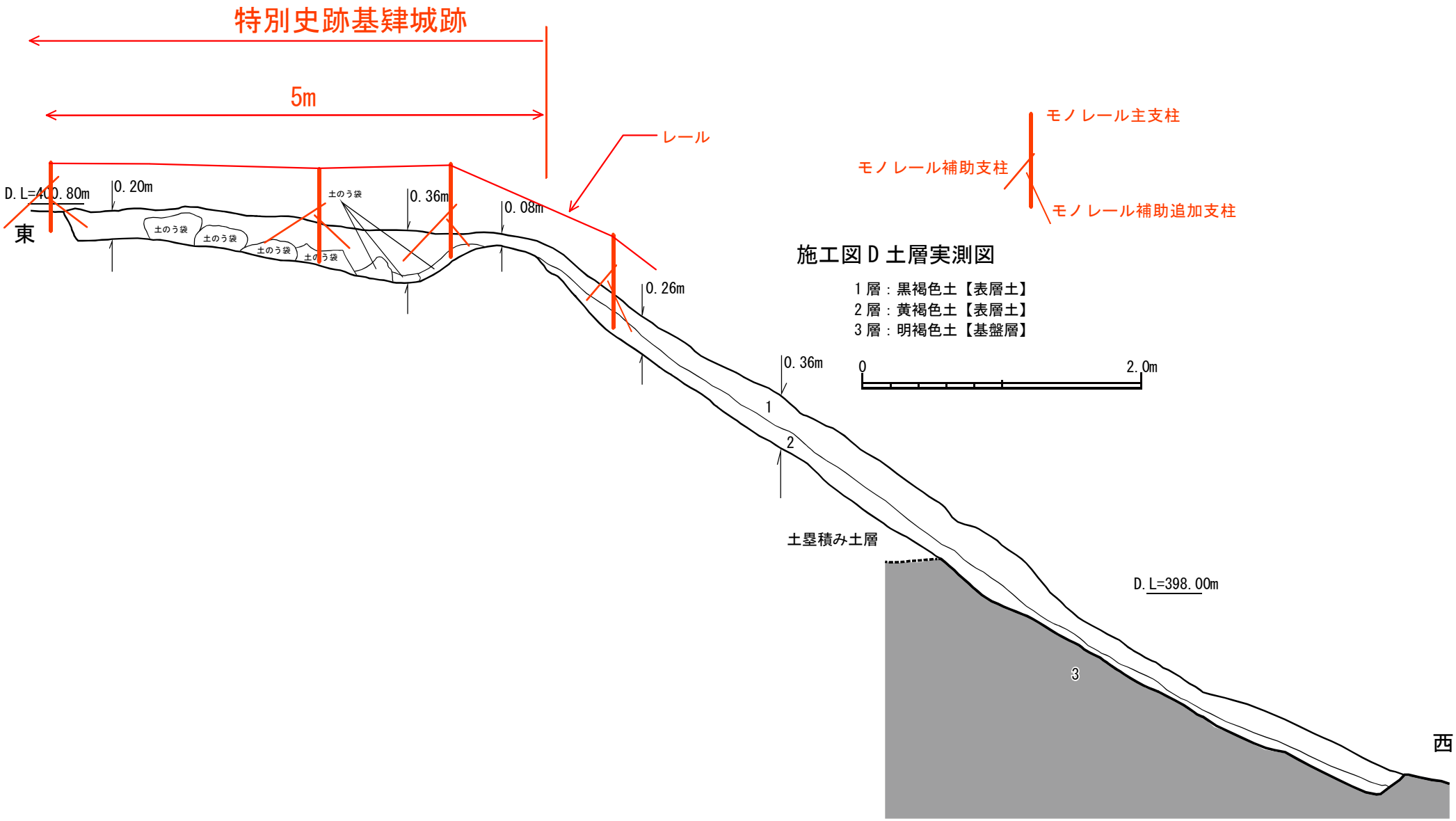
②途中から階段が崩落している

③途中から階段が崩落している

④水路は浅く今のままで通行可能

⑤対岸の遊歩道は問題なく通行可能

図表 2-1-11 現地踏査図（遊歩道１）


特別史跡基肄城跡
5m
レール
モノレール主支柱
モノレール補助支柱
モノレール補助追加支柱
D.L=400.80m
0.20m
土のう袋
土のう袋
土のう袋
土のう袋
土のう袋
0.36m
0.08m
0.26m
0.36m
東
施工図D土層実測図
1層：黒褐色土【表層土】
2層：黄褐色土【表層土】
3層：明褐色土【基盤層】
0
2.0m
1
2
土塁積み土層
D.L=398.00m
3
西

参考資料

特別史跡基肄城跡保存整備実施設計（令和6年度）より

(4) 資材運搬の検討

南門地区、遊歩道 2 のエリアについては、車両が通行可能な管理道に隣接している。

そのため、この 2 エリアについては、通常の資材運搬が可能である。

基山山頂部、遊歩道 1 のエリアは、既存遊歩道に車両が入れないため、場内資材等の運搬方法を検討する必要がある。

1）基山山頂部

1. 工事機器、資材等の搬入について検討

基山山頂部へは、草スキー場駐車場から既存遊歩道を通りアクセス可能である。

しかし、遊歩道は幅が狭く、傾斜もあるため、車両や小型キャリーダンプが使用できない。また、土塁の修復に大量の土や自然色舗装の材料を大量に使用するため、人力運搬するには不向きである。

そこで、山頂部まではモノレールによる運搬を行い、その後は、各施工場所に人力運搬となる。

2. 搬入路

斜面南側は、草スキー場として利用しているため、北側斜面にモノレールの設置を行い工事機器、資材等の搬入路とする。

3. 資材置き場

入り口付近を資材置き場とする。

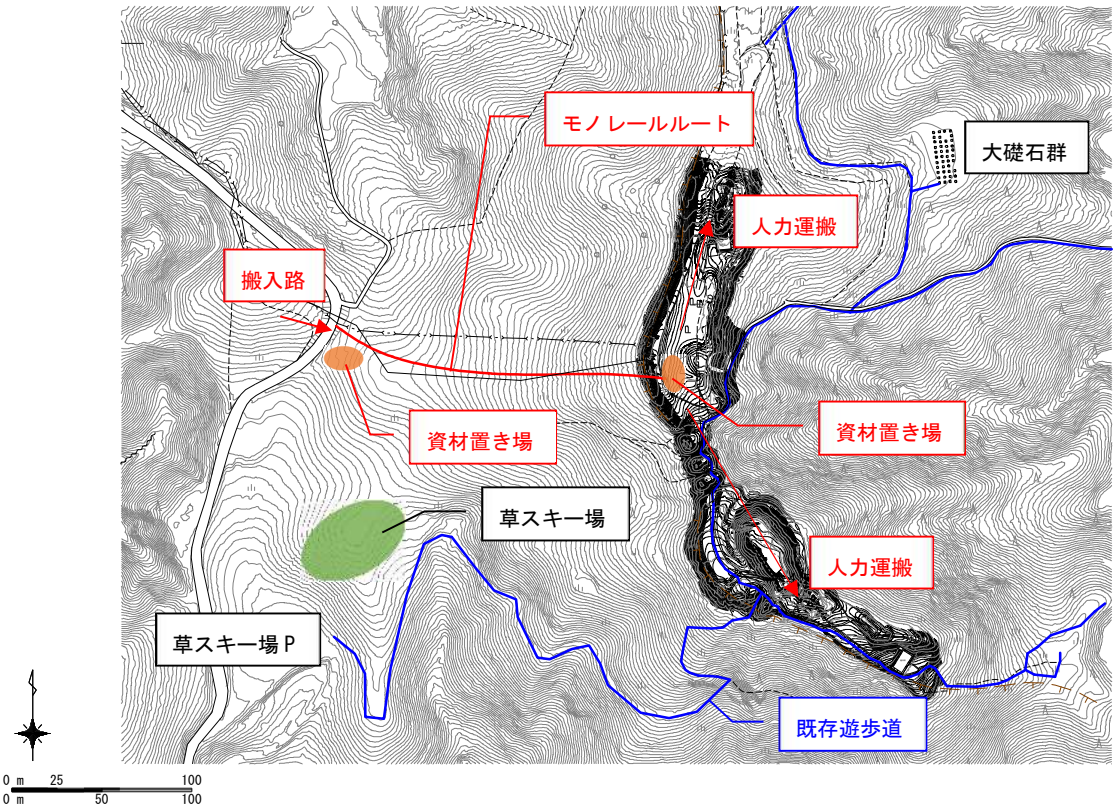
山頂部では、工事範囲内の平坦部を資材置き場とする。

4. モノレールサイズの検討

使用する機材、資材等については、タンパ、ローラー等の小型の機材や 1 袋 25ｋｇの舗装材、現地組立のベンチ等である。

そのため施工にも大掛かりな重機等は必要なく人力による施工が可能なため、モノレールサイズは積載重量 500ｋｇのもので十分運搬可能である。

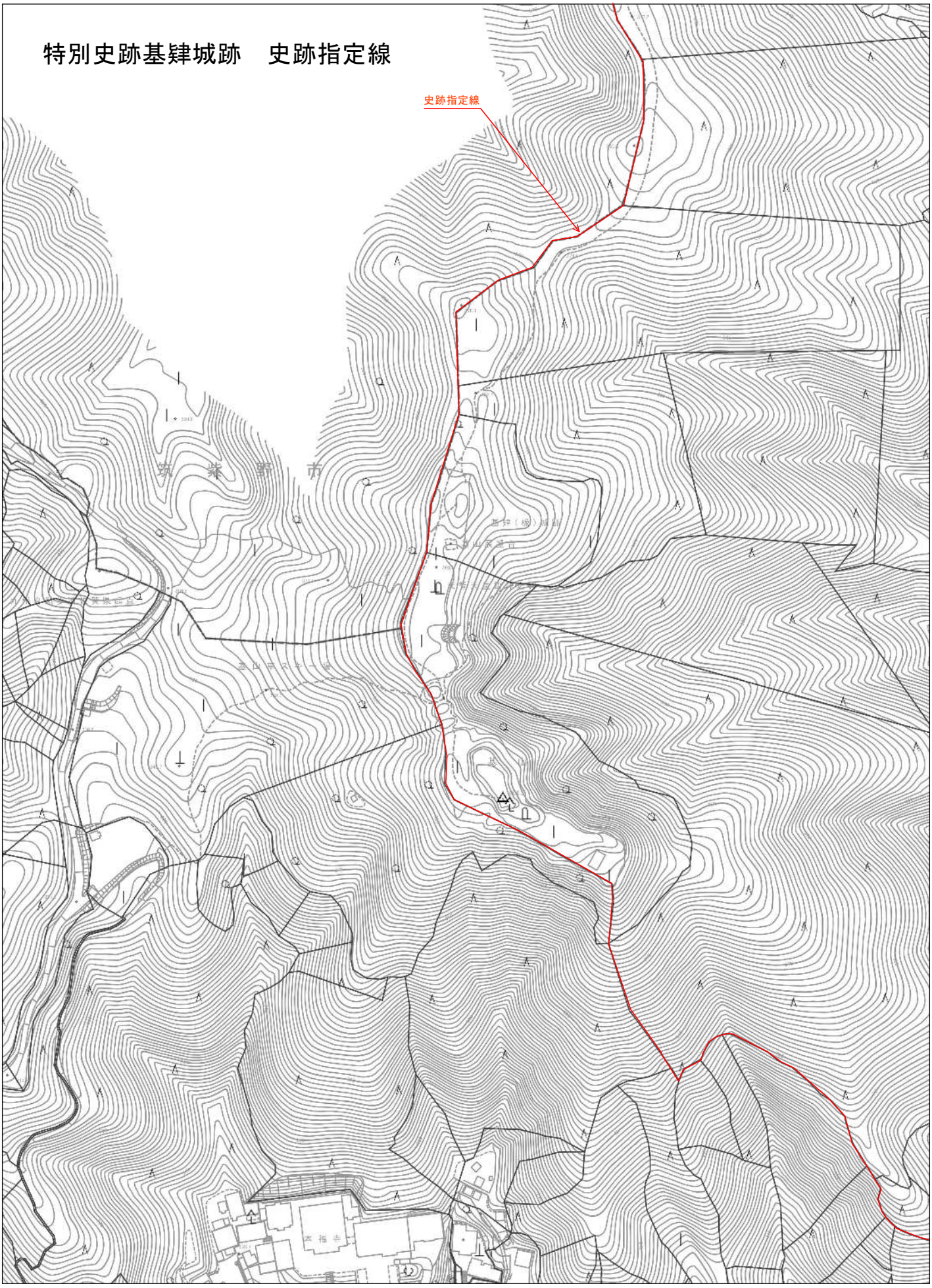
図表 2-2-9 モノレールイメージ



図表 2-2-10 資材運搬検討図（基山山頂地区）

2025年5月9日

特別史跡基肄城跡　史跡指定線



縮尺　1：2500 ※この図面は位置的なものを示すものであり権利関係には使用できません。